

- ・ 県立高等学校 スクールミッション一覧
- ・ 各県立高等学校 中期計画

奈良県立高等学校 スクール・ミッション一覧 (R7~R10)

番号	学校名	スクール・ミッション
1	奈良商工(全)	地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
	奈良商工(定)	生徒の多様なニーズに応じた柔軟な教育実践を通して、工業や商業の専門分野に関する基本的な知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
2	国際(中・高)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な人々との積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成します。</li> <li>○ 強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自律した態度を育成します。</li> <li>○ 国際社会で求められる自他を尊重する精神と豊かな感性を育成します。</li> <li>○ 健やかな心身により、国際社会で活躍するための旺盛な行動力を育成します。</li> </ul>
3	奈良	「自主創造」の学びを通して、日本、世界のよりよい未来に貢献していくグローバルリーダーの育成
4	高円芸術	普通科と芸術系学科からなる本校の特性を生かした感性豊かな人材の育成。地域社会の芸術文化の担い手の育成
5	山辺(全・通)	総合学科高等学校教育・農業系学科高等学校教育・通信制高等学校教育の特色を活かし、一人一人の生徒の個性・可能性を伸ばし、「自分らしさ」を育てる教育を展開し、地域社会に貢献できる生徒を育成します。
6	高田	「自強・和敬・創造」の校訓のもと、生徒各自が進路実現を果たし、地域社会を創生・牽引する人材や、教員として奈良県教育を支える人材の育成を目指します。
7	郡山	「誠実・剛毅・雄大」の校訓のもと、明治26年創立より培われた文武両道の精神を基礎に、主体的に社会の課題に取り組み、国際社会においてリーダーとして貢献できる人材を育成する。
8	大和中央(定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>・生徒の「個別最適な学び」や「学び直し」等に対する支援</li> </ul>
	大和中央(通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>・生徒の「学び直し」や不登校生徒等に対する支援</li> </ul>
9	添上	伝統と新しい息吹を備えた魅力ある学校、「行きたい 行かせたい」と思う学校 〈具体像〉 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習と部活動を両立し、生徒一人一人が自己実現、進路実現ができる学校</li> <li>2 特技や専門分野を伸ばすことができる学校</li> <li>3 奈良県の体育学習、スポーツ活動の中核となり、教育力を発信できる活力ある学校</li> </ol>
10	二階堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なりたい自分」の実現に向けて、主体的にキャリアデザインに取り組む人材を育成します。</li> <li>・主体的な課題設定による探究活動により、「社会人基礎力」を育み、社会に貢献する人材を育成します。</li> </ul>
11	橿原	「橿高リベラルアーツ教育」 多分野にわたる教科学習や学校行事、部活動など、すべての教育活動を互いに関連付けて実施することで、物事を多角的に見る力と多様性を理解する力を磨き、自ら課題を発見し、それを主体的かつ協働的に解決する能力を身に付けたより良い未来の社会の担い手を育てます。
12	畝傍(全)	知・徳・体の調和がとれ、自律的・創造的でグローバルな視野をもった、次代を切り拓くリーダーの育成
	畝傍(定)	多様な学びのニーズに応え、自立した社会人を育成します
13	商業	変化の激しい社会をたくましく生き抜き、地域経済の発展に貢献・活躍できる商業人材の育成
14	桜井	自由に、その個性に応じて時代感覚をもった学殖豊かな世界人の育成
15	五條	校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
16	御所実業	「ものづくりは人づくり・夢づくり」を基本テーマとし、「ものづくり」を通して喜びや達成感を味わい、総合的な人間力を土台にし、さまざまな分野で活躍できる社会人・職業人の育成
17	青翔(中・高)	中高一貫6年間を通じた理数教育の推進により、地域に貢献するとともに、科学技術創造立国たる日本の未来を牽引するサイエンスイノベーターを創出します。
18	生駒	「知・徳・体」が調和し自立した社会人の育成を目指して、豊かな人間性を身に付け、高い志に基づき自ら行動する生徒を育てます。
19	奈良北	科学技術の振興や社会の発展に貢献できる人材を創出します
20	香芝	これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材</li> <li>2 探究的な学習を通して、コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材</li> <li>3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材</li> </ol>

奈良県立高等学校 スクール・ミッション一覧 (R7~R10)

番号	学校名	スクール・ミッション
21	宇陀	いのちを大切にすると心と未来を切り拓く力を育み、自信と誇りをもって地域に貢献する生徒の育成
22	西和清陵	生涯にわたり学び続け、自己の成長を目標とし、よりよい社会の形成に主体的に寄与する人材を育成する。
23	法隆寺国際	県立高等学校で最初のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、判断し、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
24	磯城野	衣食住について専門的に学び「生きる力」を培い、農業系・家庭系の未来のスペシャリストを育成します。 〈具体像〉1 生徒が自己実現、進路実現できる力を育成する。 2 生徒の専門分野の知識・技能を伸張させる。 3 奈良県の農業科教育、家庭科教育の中核として、その実践・成果を発信していく。
25	高取国際	地域から学び、地元や国内のみならず、世界で活躍できる人材の育成
26	王寺工業	工学的な知識・技術を活用し、グローバルな視点を持ちながら地域コミュニティを支えるグローバルな人材の育成
27	大和広陵	・学校スローガン「スポーツ(部活動)をとおしての人づくり」をあげて、部活動を重視、応援します。 ・たくましい体力と豊かな人間性を有し、社会に貢献できる人材育成します。 ・一人一人に合った進路実現と自己実現をサポートします。
28	奈良南	様々な教育活動を通して、人権尊重の精神をもち、学ぶ意欲や主体的・協働的によりよく問題を解決する資質・能力を身に付け、南奈良地域を中心とした社会に貢献する自立した人材を育成します。また、地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域住民等が教育活動に参画することにより、信頼される「魅力ある学校づくり」に努め、奈良県・地域社会のニーズに応えます。
29	十津川	「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成、将来の地域を担う人材の育成及び輩出

奈良県立奈良商工高等学校 全日制課程 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		地域社会に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストの養成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本校の学科の特色を理解し、明確な進路目標をもって意欲的に高校生活を送ることができる生徒</li> <li>本校志望の意志が強く、社会の変化に対応できるよう主体的に学習に取り組み、学校行事、部活動、地域交流等に積極的に参加し、なかまも協働して「目標」に向かって努力する生徒</li> <li>ものづくりや科学技術に関心をもち、工業に関する知識・技能の習得と資格取得に積極的にチャレンジする生徒</li> <li>ビジネス社会に関心をもち、ビジネス活動に必要な資格の取得に向けて一生懸命に努力することのできる生徒</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会人としての基礎を養うとともに実社会で役立つ資格を取得し、職業人としての資質を高めます。</li> <li>最先端の機器を活用して、ものづくりやビジネスに関する実験・実習を行います。</li> <li>大学や専門学校、企業等と連携した高度な授業や技術講演会を実施します。</li> <li>就職や進学に対応した柔軟な科目選択や少人数指導を行います。</li> <li>生徒会活動、部活動、ボランティア活動を通して、他者と協働する力を育成します。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>人間尊重の精神に徹し、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。</li> <li>将来にわたり、高い志をもち、自ら学び、自ら考え、社会の変化に柔軟に対応することができる。</li> <li>長期的な視点で、また様々な角度から物事を捉え、地域社会の中核として主体的に活動することができる。</li> <li>専門的知識と確かな技術を習得し、地域社会や産業界の発展に貢献することができる。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	●「授業中に考えたり、質問したりする時間は十分ある」「知識が豊かになったり、力がついたり実感できる。」「興味や関心が高まった。」と感じている生徒の割合90%以上
	ICTを活用した授業の充実	●先生はわかりやすい授業になるよう、ICT機器を活用するなど工夫していると感じている生徒の割合90%以上
	食育の推進	●朝食を食べない生徒が全校生徒の10%未満
	体力・運動能力・運動意欲の向上	●体育の授業以外に運動やスポーツを週1日以上する生徒の割合60%以上 ●スポーツへの意欲のある生徒の割合85%以上
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	●「奈良TIME」や「総合的な探究の時間」において郷土や地域に関する興味関心が高まったと感じている生徒の割合80%以上
	特別支援教育の推進	●支援計画に基づいた支援の結果、「安心して学校生活を送ることができる」「困ったときに相談できる人が校内にいる」と感じている支援が必要な生徒の割合80%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	●情報共有の効率化、会議の進め方の見直しによる時間外在校時間を令和6年度から10%減
	学校安全の推進	●避難訓練等を通じて防災意識が高まったと感じている生徒の割合80%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	●在学中にインターンシップ・デュアルシステムに参加する生徒の割合60%以上 ●基本的な生活習慣の確立 挨拶の励行(挨拶をしている生徒の割合95%以上)、時間の遵守(遅刻数前年度比5%減)
	実学教育の推進	●社会人講師等を招いての実習・講演・授業等を受けて、実践的な学びを得たと感じている生徒の割合80%以上
	地域との連携・協働の推進	●地域の行事に参加した生徒で「地域連携に対する意識が高まった」「継続的に活動に取り組みたいと思った」「地域への興味関心が高まった」と感じている生徒の割合80%以上 ●学校運営協議会において本校の地域学校協働活動について十分な成果が認められると感じている委員の割合80%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめの未然防止・不登校等への対策	●「安心して学校生活を送ることができる」「困ったときに相談できる人が校内にいる」と感じている生徒の割合90%以上
	人権教育の推進	●人権講演会や人権HR等をおして、人権意識が高まったと感じている生徒の割合90%以上
	共生社会の実現に向けた教育の推進	●「お互いの個性や人格を尊重することが大切である」と考える生徒の割合90%以上

奈良県立奈良商工高等学校定時制課程 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		生徒の多様なニーズに応じた柔軟な教育実践を通して、工業や商業の専門分野に関する基本的な知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 他者への思いやりの心や感謝の気持ちを大切に、多様な仲間とともに学校生活を送りたい生徒 2 日々の授業を大切に、部活動や生徒会活動、学校行事にも積極的に取り組む意欲のある生徒 3 工業や商業に興味・関心をもち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の実態に合わせて教材を精選し、基礎学力を定着させ、真実に学習に取り組む意欲と態度を育てます。 2 ICT機器を効果的に活用し、工業や商業に関する専門性を高め、実社会で通用する資質・能力の習得を図ります。 3 少人数のメリットを生かし、実習や資格試験ではマンツーマンに近い形で丁寧に指導します。 4 学校行事や部活動、生徒会活動を通して、共に成長できる環境づくりに努めます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と柔軟に協働し、互いに理解し、共に支え合うことを大切に行動できる。 2 社会で必要なルールやマナーを身に付け、地域社会や職場から信頼される。 3 基礎的・基本的な知識や技術を修得し、幅広い分野で活躍することができる。 4 自分で課題を見つけ、主体的に取り組む、将来にわたって学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	「授業で興味・関心が高まる」と感じている生徒の割合90%以上
	望ましい食習慣の確立	「食生活の大切さを理解し、一日3食食べている」生徒の割合80%以上
	運動に対する意識の向上	「体育の授業などで運動することは好きである」生徒の割合80%以上
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIMEの学習で、「奈良の伝統、文化、自然等への興味関心が高まった」と感じている生徒の割合80%以上
	特別支援教育の推進	支援計画に基づいた支援の結果、「安心して学校生活を送ることができた」「困ったときに相談できる人が校内にいる」と感じている支援が必要な生徒の割合80%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	ICTを活用した教育の推進	「ICTを活用することで学びが深まった」と感じている生徒の割合90%以上
	交通安全・防犯・防災教育の推進	「防災・避難訓練やHR等での交通安全に関する学習を通じて防災や交通マナーを守ることに意識が高まった」と感じている生徒の割合80%以上
	教員の働き方改革	情報共有の効率化、会議の進め方の見直しによる時間外在校時間10%減
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	「キャリアパスポートに記入した目標を意識して学校生活を送ることができた」と感じている生徒の割合80%以上
	インターンシップ等の就労体験の充実	インターンシップをはじめ、在学中に就労を体験する生徒の割合80%以上
	地域に貢献する人材の育成	学校周辺の清掃活動等を実施し、「地域に貢献できた」と感じた生徒の割合90%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	一人一人の個性を認め合う生徒の育成	「一人一人の個性を尊重することが大切である」と考える生徒の割合90%以上
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	・「学校は安心して過ごせる場所である」と感じている生徒の割合90%以上 ・いじめのアンケート等を年間2回以上実施
	人権教育の推進	「人権HRや人権講演会を通じて人権意識が高まった」と感じた生徒の割合90%以上

奈良県立国際中学校・高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月									
Mission (本校の使命)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な人々との積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成します。</li> <li>○ 強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自律した態度を育成します。</li> <li>○ 国際社会で求められる自他を尊重する精神と豊かな感性を育成します。</li> <li>○ 健やかな心身により、国際社会で活躍するための旺盛な行動力を育成します。</li> </ul>									
School Policy (教育方針)	Admission Policy (入学者の受け入れに関する方針)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <table border="0"> <tr> <td>【中学校】</td> <td>【高等学校】</td> </tr> <tr> <td>・社会で起きていることに興味・関心をもち、知識を使って豊かな思考や表現ができる生徒</td> <td>・中学校段階で求められる基礎的な学力を身に付けている生徒</td> </tr> <tr> <td>・思いやりの心をもち、他の人との対話を楽しむことができる生徒</td> <td>・多様な人々とのコミュニケーションに意欲的に取り組む生徒</td> </tr> <tr> <td>・何事にも粘り強く取り組み、目標をもって学び続けようとしている生徒</td> <td>・国際社会の平和と発展に貢献する意欲をもつ生徒</td> </tr> </table> <p>【Global Language and Inquiry (LI) コース】 地球規模の諸課題に興味・関心をもち、多様な人々とのコミュニケーションに意欲的に取り組む生徒</p> <p>【Diploma Programme (DP) コース】 海外または国内の大学へ進学し、国際的な視野で社会貢献に取り組む意欲をもつ生徒で、かつ各科目を受講できる程度の英語・日本語運用能力を有する生徒 (詳細は「国際高等学校DPアドミッションポリシーに記載」)</p>	【中学校】	【高等学校】	・社会で起きていることに興味・関心をもち、知識を使って豊かな思考や表現ができる生徒	・中学校段階で求められる基礎的な学力を身に付けている生徒	・思いやりの心をもち、他の人との対話を楽しむことができる生徒	・多様な人々とのコミュニケーションに意欲的に取り組む生徒	・何事にも粘り強く取り組み、目標をもって学び続けようとしている生徒	・国際社会の平和と発展に貢献する意欲をもつ生徒
	【中学校】	【高等学校】								
	・社会で起きていることに興味・関心をもち、知識を使って豊かな思考や表現ができる生徒	・中学校段階で求められる基礎的な学力を身に付けている生徒								
・思いやりの心をもち、他の人との対話を楽しむことができる生徒	・多様な人々とのコミュニケーションに意欲的に取り組む生徒									
・何事にも粘り強く取り組み、目標をもって学び続けようとしている生徒	・国際社会の平和と発展に貢献する意欲をもつ生徒									
Curriculum Policy (教育課程の編成及び実施に関する方針)	<p>本校では、Mission実現のため、IBワールドスクール、ユネスコスクールとしての取組を学校全体で推進し、以下の教育を行います。</p> <table border="0"> <tr> <td>【中学校】</td> <td>【高等学校】</td> </tr> <tr> <td>・国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear2～4) を実施</td> <td>・高校1年生全員に対して国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear5: 高1) を実施</td> </tr> <tr> <td>・「グローバル探究基礎」を実施</td> <td>・LIコースでは、「世界の言語」「グローバル探究」を実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・DPコースでは、高校1年生11月より国際バカロレアディプロマプログラムを実施予定(現在は候補校※)</td> </tr> </table> <p>※) IBの「初等教育プログラム」(PYP)、「中等教育プログラム」(MYP)、「ディプロマプログラム」(DP)の3つのプログラム(および「IBキャリア関連サーティフィケート」)を実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保証するものではありません。</p>		【中学校】	【高等学校】	・国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear2～4) を実施	・高校1年生全員に対して国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear5: 高1) を実施	・「グローバル探究基礎」を実施	・LIコースでは、「世界の言語」「グローバル探究」を実施		・DPコースでは、高校1年生11月より国際バカロレアディプロマプログラムを実施予定(現在は候補校※)
【中学校】	【高等学校】									
・国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear2～4) を実施	・高校1年生全員に対して国際バカロレア中等教育プログラム (MYPYear5: 高1) を実施									
・「グローバル探究基礎」を実施	・LIコースでは、「世界の言語」「グローバル探究」を実施									
	・DPコースでは、高校1年生11月より国際バカロレアディプロマプログラムを実施予定(現在は候補校※)									
Graduation Policy (育成を目指す資質・能力に関する方針)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。(6つの力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の様々な課題について、探究心をもって課題を発見し、解決に導く。(探究力)</li> <li>・自分の考えや常識にとらわれず、創造的に考え、新たなアイデアを生み出す。(創造力)</li> <li>・文化や言語の違いを超えて、協力・協働しながら互いに高め合う。(協働力)</li> <li>・文化や考えの違う他者の意見や存在を、社会をよりよくしていくための重要なものとして受け入れ共に高めようとする。(寛容さ)</li> <li>・課題について、失敗を糧にしながら意欲的に解決に向かう。(挑戦力、レジリエンス)</li> <li>・希望する進路に向けて、課題を把握し、解決のために行動を起こす。(キャリアデザイン力)</li> </ul> <p>これらは、国際バカロレアプログラムの10の学習者像と深く関わっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を活用し探究する(探究力)→探究する人 知識のある人</li> <li>・批判的・創造的に考える(創造力)→考える人</li> <li>・コミュニケーションを大切に協力し合う(協働力)→コミュニケーションができる人</li> <li>・他人を思いやり、心を開く(寛容さ)→思いやりのある人 心を開く人</li> <li>・信念と決断力をもって挑戦する(挑戦力)→信念をもつ人 挑戦する人</li> <li>・自分の考えや経験を振り返る(キャリアデザイン力)→振り返りができる人</li> <li>・心と体のバランスを大切に→バランスのとれた人</li> </ul>									

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	授業満足度80%以上 (生徒授業アンケート 全項目平均)
	持続可能な社会の創り手の育成	持続可能な社会への取組状況 生徒、教員ともに80%以上 (生徒、教員アンケート 該当項目平均)
	国際バカロレアプログラムの推進	IB授業満足度 生徒、教員ともに80%以上 (IBに関わる生徒、教員へのアンケート 全項目平均)
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIME(グローバル探究)授業満足度80%以上 (生徒授業アンケート 教科総合平均)
	特別支援教育の推進	授業のユニバーサルデザイン度80%以上 (教員アンケート 平均)
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	安全、安心な教育環境の整備	教育環境満足度90%以上 (生徒、保護者、教員アンケート 全学年平均)
	教員研修の充実	協働設計満足度80%以上 (教員アンケート 平均)
	教員の働き方改革	総合健康リスク 100以下(教職員ストレスチェック) 教員満足度 90%(教員アンケート平均)
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	学校の魅力の積極的な発信	インスタグラム 累積投稿数 1000 以上 情報発信満足度 90% 以上(生徒、保護者アンケート平均)
	地球市民としての意識と行動の醸成	全校で取り組む国際DAY実施 年3回 取り組みによる意識の変容度 80%以上(教員、生徒)
	生徒の主体的な活動の支援	学校行事・SA(サービスアズアクション)への主体的参加度 90%以上(生徒アンケート 全学年平均)
	インターンシップやフィールドワークの充実	高 インターンシップ参加率・中 キャリア関係行事参加率 100% キャリアデザイン力達成度 80%(生徒アンケート 全学年平均)
4. 誰一人取り残さない教育の推進	個に応じた指導の効果的な実施	多面的評価満足度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)
	教育相談体制の充実	個別の生徒対応度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)
	国際視点の人権教育、多文化理解の推進	国際交流の回数 対面 年7回 オンライン 年40回

奈良県立奈良高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「自主創造」の学びを通して、日本、世界のよりよい未来に貢献していくグローバルリーダーの育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 本稿が求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)	<b>「自主創造」型自己変革の追求</b> 高い理想と目標に向けて、絶えず知性を磨き、自主的な判断と行動を通じて、真摯に人格の成長を目指す生徒を求めます。 ①積極的な勉学や課外活動を通して、豊かな知性の創造を目指していくような、明るく豊かな活力のある生徒を求めます。 ②人間としての在り方・生き方を自覚し、堅い意志をもって自らの行動を律する主体性をもった生徒を求めます。 ③自由と責任を自覚するとともに、人間尊重の精神を基盤として、多くの人と敬愛と信頼に満ちた人間関係を築くことができる生徒を求めます。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 本校が展開する教育活動 (カリキュラム・ポリシー)	<b>主体的・未来志向型の学び</b> 未来を生きる生徒の能力や個性を最大限に伸ばすため、「自主創造」の学びを通して、深い思考力・豊かな知識の涵養を図る教育を創造します。 ①主体的・探究的な学習により、生徒の高い理想と多様な未来につながるような確かな資質・能力を身につけることができる教育課程を編成します。 ②科学的思考力に企画提案力・マネジメント力を付加していく教育プログラムにより、科学技術系グローバルリーダーを育成します。 ③生徒が「自主創造」の精神を発揮しながら、笑顔が輝く学校生活を実現していくような教育内容を創造します。また、地域との双方向の連携を構築する中で、地域から世界に発展的に貢献していく人材を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針	<b>次世代型competenceの育成</b> 「自主創造」の精神を承継し、「自ら学び、自ら考え、自ら開拓する」姿勢を身に付け、日本、世界のよりよい未来に貢献していく人材を育成します。 ①豊かな知識・論理的・科学的思考力及び客観的判断力を基盤として、物事を様々な角度から多面的に捉え、本質を見極める力を育成します。 ②人の優しさ、心の痛みに気付き、そこから他人への感謝や相手を気遣うような「繊細で温かい心」を育成します。 ③国籍、文化の違いを超えて物事を捉え、日本や世界のよりよい未来の実現に主体的に貢献していくグローバルリーダーを育成します。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を はぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートにおいて、「授業を受けて、力がついたり、自分の考え方や視野が広がった。」と回答する生徒の割合が85%以上。 課題研究の個人用ルーブリックにおける課題解決力・科学的探究力の観点で、「十分満足できるレベル」(複合的なアプローチを行う。複数の科目領域の手法を用いる。継続的に探究活動を進展させる。)以上の評価をする生徒の割合が75%以上。
	学習意欲の向上	授業アンケートにおいて、「授業を受けて、学習意欲が向上した。」と回答する生徒の割合が85%以上。 課題研究の個人用ルーブリックにおける主体性・主体的な活動の観点で、「十分満足できるレベル」(常に積極的に期待以上に取り組む。周囲に前向きな影響を及ぼす。)以上の評価をする生徒の割合が85%以上。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	地域と生活の科学の個人用ルーブリックにおける主体性・主体的な活動の観点で、「十分満足できるレベル」(常に積極的に期待以上に取り組む。周囲に前向きな影響を及ぼす。)以上の評価をする生徒の割合が85%以上。
	ICT機器を活用した教育の推進	教員向けのアンケートで「電子黒板を授業で使用している」と回答する割合が80%以上、「BYOD端末を授業で使用している」と回答する割合が60%以上。 生徒向けのアンケートを実施し、BYODの使用によって学習効果が高まっていると感じると答える生徒が60%以上。
	教育相談活動・特別支援教育の推進	○障害を持つ生徒に対して、個別の支援計画を作成し、年4回の教育相談検討委員会で支援内容について検討し、委員会直後の職員会議で情報を共有する。 ○教育相談対象生徒の状態について、スクールカウンセラーが「改善した」と判断する生徒が80%以上。
	自ら健康の保持増進を図る意欲の向上	定期健康診断後の受診率20%向上。
	体力の向上	新体力テストで、全種目全国平均を上回る。
	グローバルマインドの育成	海外校との交流機会を年度2回確保し、参加生徒の達成度が70%以上。
	深い学びの実現を見据えた文化講座、文化鑑賞会の充実	古典芸能の鑑賞を通して日本の伝統文化の魅力を生徒に伝え、満足したと回答する生徒の割合が85%以上。
	図書貸し出し冊数の増加及び安定	年間貸し出し冊数の総計が2,000冊を超えるようにする。
2. 学校における教育の基盤となる教育 環境、体制の整備の推進	授業改善に向けた研修推進	公開授業週間等を利用して、年1回は他の教員の授業見学を100%の教員が行う。
	人権教育の研修促進	人権ホームルームでとりあげる個別の課題をテーマにした職員全体の研修を3年計画で実施し、全体の90%以上の参加を実現することにより職員の人権意識の向上を図る。
	学校における働き方改革	各学期に3回以上の定時退庁日を設定。
	快適な教育環境の整備の充実を図る	生活環境委員の事後アンケートにおいて「快適な環境を作る喜びを味わうことができた」と「ゴミの分別や環境問題に対する理解を深めることができた」という質問に対して「そう思う」や「ややそう思う」と回答する生徒の割合が80%以上。
	実践的な避難訓練を通じた 防災教育の充実	防災に帯する意識を高め迅速に行動できるようグラウンドへの避難にかかる時間を昨年度より20%減を目標とする。
通学途上の安全確保の取組	交通ルールの規範意識を向上させ、苦情を含むトラブル・事故数を昨年度より10%減を目標とする。	
3. 地域や家庭で学びを支え合う社会の 実現に向けた教育の推進	広報活動の充実	○育友会バザーへのバザー用品拠出、前年度比10%以上。 ○文化施設見学会への参加、前年度比10%以上。
	地域連携センター平城山の取組の推進	関連行事に、3年間で1回以上関わる生徒の割合が85%以上。
	キャリア関連事業・インターンシップ事業の 充実	「高大連携事業の実施」 多様な進路選択に対応し、視野を広げ、主体的な進路選択力を育成する高大連携事業を進学重点校の中心として推進する。そのためのアカデミック・インターンシップまたは出前授業等の4回以上の実施。 「社会人・企業等との連携による職業観の醸成」 多様な職業に触れる機会を通じて視野を広げ、社会とのつながりを実感させることで、生徒の職業観を醸成し、主体的な進路選択能力を育成する。そのための企業研修・出前授業等の4回以上の実施。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	人権教育の推進	3年生対象の「人権学習に関するアンケート」において、「新しい発見があった・考えが深まった」と回答する生徒の割合が平均85%以上。
	学校いじめ防止方針等に基づく取組	「こころと生活等に関するアンケート」で、 ○「学校の先生は信頼できる」「学校の先生は困ったときに助けてくれる」という質問において、「あてはまらない」と回答する生徒の割合が7%以下。 ○「私はこのクラスにいると落ち着く」という質問において、「あてはまる」と回答する生徒の割合が80%以上。

奈良県立山辺高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		総合学科高等学校教育・農業系学科高等学校教育・通信制高等学校教育の特色を活かし、一人一人の生徒の個性・可能性を伸ばし、「自分らしさ」を育てる教育を展開し、地域社会に貢献できる生徒を育成します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>1. 共通項目</p> <p>(1)自己の能力を積極的に高めようとする意欲のある生徒。</p> <p>(2)あらゆる分野の学習に興味を持ち、進路実現に向け努力する生徒。</p> <p>(3)進路実現に向けた取り組み、資格取得などに意欲的な生徒。</p> <p>(4)科学的な視野を持ち、幅広く物事をとらえることのできる生徒。</p> <p>2. 総合学科項目</p> <p>(1)様々な分野・事柄に興味、関心を持ち、視野を広げる意欲のある生徒。</p> <p>(2)自ら課題を設定し、探究する意欲のある生徒。</p> <p>(3)進路選択について真剣に考え、その実現のために取り組める生徒。</p> <p>(4)将来社会の多様な分野で主体的に行動する意欲を持つ生徒。</p> <p>3. 農業系学科項目</p> <p>(1)農業による地域活性化に取り組む強い意志を持った生徒。(農業探究科・自立支援農業科)</p> <p>(2)安全・安心な農業生産に関心があり、体験学習に意欲的な生徒。(農業探究科・自立支援農業科)</p> <p>(3)伝統産業の継承や栽培技術に関心があり、学習意欲に富む生徒。(農業探究科・自立支援農業科)</p> <p>(4)一般就労を目標とし、社会的自立に向かう意欲のある生徒。(自立支援農業科)</p> <p>4. 通信制項目</p> <p>(1)様々な分野・事柄に興味、関心を持ち、視野を広げる意欲のある生徒。</p> <p>(2)自己の成長を目指しながら、自立学習を継続することができる生徒。</p> <p>(3)自らの進路について主体的に考え、その実現のために取り組める生徒。</p>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>1. 総合学科項目</p> <p>(1)多様な系列の授業を設定し、個人の関心・適性にあった学びを提供します。</p> <p>(2)実習や体験的な学びを多く取り入れ、生きて働く実践的な知識や技能を身につかせます。</p> <p>(3)自らの進路について考える教育課程を用意し、3年間継続して進路実現に向けて取り組めるようにします。</p> <p>(4)ICT機器を適切に活用し、社会のあらゆる分野において役立つ情報活用能力の育成を図ります。</p> <p>2. 農業系学科項目</p> <p>(1)農場での実習を通して、教科書で学ぶことだけではない実践的な知識・技術を身に付けます。(農業探究科)</p> <p>(2)野菜・草花・茶について実際に畑や温室、茶園で栽培管理を学びます。(農業探究科)</p> <p>(3)知的障害のある生徒を対象として、普通教科や農業についての探究的な学びを提供します。(自立支援農業科)</p> <p>(4)個々の障害の状態や個性に応じ、社会的自立に向けた学びを提供します。(自立支援農業科)</p> <p>(5)就業体験の機会を多く設定することで、将来の社会的自立に向けた経験の場を提供します。(自立支援農業科)</p> <p>3. 通信制項目</p> <p>(1)基礎基本に重点を置いた授業を設定し、社会で広く必要とされる学びを提供します。</p> <p>(2)オンラインでの学びを多く取り入れ、いつでもどこでも学べる環境を提供します。</p> <p>(3)自らの進路について考える教育課程を用意し、3年間継続して進路実現に向けて取り組めるようにします。</p> <p>(4)ICT機器を積極的に活用し、社会のあらゆる分野において役立つ情報活用能力の育成を図ります。</p>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>1. 総合学科項目</p> <p>(1)専修分野に関する視座を高め、主体的に産業社会に参画することができる。</p> <p>(2)習得した知識や技能を実践的に活用し、諸課題を解決することができる。</p> <p>(3)自らのキャリアをデザインし、実現に向けた取り組みを計画性をもって継続することができる。</p> <p>2. 農業系学科項目</p> <p>(1)農業についての基礎的・基本的な事項を理解し、活用できる。(農業探究科・自立支援農業科)</p> <p>(2)地域社会に貢献でき、意欲を持って行動できる。(農業探究科・自立支援農業科)</p> <p>3. 通信制項目</p> <p>(1)教科横断的な広い視野を持ち、主体的に地域社会に参画することができる。</p> <p>(2)習得した知識や技能を実践的に活用し、継続的に学習することができる。</p> <p>(3)自らの進路を主体的に選択し、実現に向けた取り組みを計画的に実行できる。</p>

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標 (A)	令和10年度末目標値等 (B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	郷土の伝統文化に関する教育の推進	年度末の郷土への学習満足度「意義がある」75%以上
	スポーツを通じた豊かな心身の育成	スポーツテストのTスコア50以上
	特別支援教育の充実	職員研修を通じて、特別支援教育の充実を図る。教員アンケートの「本校は、特別支援教育の充実に努めている」の項目で肯定評価90%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	健康リスクの数値を70以下にする。
	教職員の資質向上	学校満足度調査の質問「この学校の先生は分かりやすく授業をしてくれる」の割合を90%以上
	学校安全の推進	交通安全教室等を通じて安全教育を徹底し、教員アンケートの「本校は交通安全教育の充実に努めている」の項目で肯定評価90%以上。併せて単車・自転車事故0を達成する。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	キャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に自らの進路を考えることができるようにする。企業見学、オープンスクールへの参加率90%以上
	地域学校協働活動の充実	学校運営協議会の充実を図る。年度末の協議会委員のアンケートの「より良い学校づくりを進めるために協議を行うことができた」の項目で肯定評価が過半数以上。
	インターンシップの充実	インターンシップの参加率95%以上と生徒の肯定評価85%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	いじめに関するアンケートにおいて、質問5「いじめのない学校をつくるにはどうしたらよいか」の記述の問いにいじめに対して正しい理解のできる生徒の割合を90%以上にする。
	不登校対策の推進	学校満足度調査の質問「この学校に入学して良かったと感じる」の割合を90%以上に向上させる。
	共生社会の実現に向けた教育の推進	異文化理解の機会を毎年確保する。教員アンケートの「本校は多様性を尊重する教育を推進している」の項目で肯定評価90%以上

奈良県立高円芸術高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	普通科と芸術系統学科からなる本校の特色を生かした感性豊かな人材の育成。地域社会の芸術文化の担い手の育成。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒。 2 自ら考え、自らの行動し、他者との対話を通じ、学習活動に協働的に取り組むことができる生徒。 3 互いの立場を理解しようとする人権尊重の精神をもち、他者との関わりを通じて自己の成長を目指す生徒。 4 普通科においては、基礎的な学力を身に付け、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。 5 音楽科・美術科・デザイン科においては、自己の表現を探究し続ける姿勢と、生涯にわたって芸術文化に関わっていくとする熱意にあふれ、学習活動に主体的に取り組むことができる生徒。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、主体的な学習態度に根ざした確かな学力の育成・芸術文化の薫り漂う学習環境に根ざした豊かな人間性の醸成・他者とのつながりと自己理解に根ざした健やかな心身の育成を教育方針とし、その実現のため、以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択が可能カリキュラムを編成します。 2 奈良県唯一の芸術高校として特色ある学校設定科目を開設し、すべての学科において、芸術文化の担い手の育成を目指します。 3 基本的な生活習慣を身に付けさせ、規律ある学校生活を送ることができるよう、規範意識を育みます。 4 主体的に学ぶ態度を身に付けさせる学習指導を行います。 5 学習活動のすべての場面において、人権尊重の姿勢を育み、生徒の自己肯定感を高める指導を行います。 6 保健・食育指導等を通して、体力の向上を図り、心身の健康への意識を高める指導をします。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 他者とのつながりを大切に、自己の成長につながる努力を卒業後も主体的に続けることができる力。 【普通科】確かな学力と、芸術文化を理解する力に裏付けられた豊かな人間性を基盤に、地域社会への貢献を意識して主体的に行動する人材。 【音楽科】音楽文化の創造と発展に寄与し、地域社会に貢献しようとする人材。 【美術科・デザイン科】生活の中の造形や美術文化に関心をもち、地域社会に貢献しようとする人材。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を はぐくむ学校教育の推進	新しい時代に求められる資質・能力の育成	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善を図ります。 ○本校での学習活動により「学習意欲が向上した」と感じる生徒の割合が80%以上、「学力が伸長した」と感じる生徒の割合が90%以上を目指します。 ○本校の教育活動への満足度90%以上を目指します。 <普通科> ○特色ある学校づくりを目指した学校設定科目である「総合芸術探究」や「伝統芸術探究」での学びを活かし、感性豊かな人材を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育成します。 ○自ら課題を設定し、探究活動に主体的、協働的に取り組むようとする態度を養います。 <音楽科> ○様々な行事での演奏並びに、定期演奏会での演奏に向け、計画的に学習活動を進めます。 ○卒業演奏会での発表を3年間の学びの集大成とします。その達成に向け、月例ホールコンサートを年間8回開催します。 ○地域と連携したアウトリーチ活動に積極的に取り組みます。 <美術科・デザイン科> ○高円美術展を開催し、年間の学びの集大成とします。その達成に向け、様々な展覧会等への出品に向けた創作活動に取り組みます。 ○地域と連携した活動に積極的に参加します。
	教育DXの推進	○ICT教育推進のための教員研修を、年3回以上実施します。 ○本校のICT教育への満足度90%以上を目指します。
	豊かな心の育成	○子ども理解の一助とするため、年2回、保護者宛「スクールカウンセラー便り」を発行、高校生心の発達について情報提供します。 ○本校は「メンタルケア等に役立つ情報を発信している」と感じた生徒及び保護者の割合90%以上を目指します。
	読書活動の推進	○生徒の読書活動を啓発する活動を推進します。 ○生徒の不読率を30%以下を目指します。
	健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	○体育の授業にトレーニングや柔軟運動を随時取り入れ、「基礎体力の向上」を実感した生徒の割合80%以上を目指します。 ○「食育だより」を年1回発行し、朝食の大切さや食事の重要性を呼びかけます。 ○以上の取組等を通じ「食習慣等の基本的な生活習慣が身に付いている」と感じた生徒の割合80%以上を目指します。
	特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する研修会を実施し、全ての教職員の理解を深めます。 ○研修会後に「特別支援教育への理解が深まった」と感じた教職員の割合が90%以上を目指します。
	2. 学校における教育の基盤となる 教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革
教職員の資質向上		○生徒自らが主体的に学習に取り組むことができる授業を展開します。 ○授業改善に向けた公開授業と職員研修を年2回実施します。 ○研修後に「教員研修が授業改善等に役立った」と感じた教員の割合80%以上を目指します。
学校安全の推進		○学校安全に関する教職員の資質向上のための研修会を実施します。 ○研修会後に「学校安全に関する理解が深まった」と回答した教職員の割合90%以上を目指します。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の 実現に向けた教育の推進	キャリア教育の充実	○第1学年は「分野・学問別進路ガイダンス」、第2学年は「進路ガイダンス・出前授業」、第3学年は「面接マナー講座」及び「志望理由書対策講座」を実施します。また「大学等キャンパス見学会」及び「会場型進路ガイダンス」を実施します。 ○本校の取組が「自身の進路選択に役立った」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。
	学校・家庭・地域の連携・協働の推進	○学校運営協議会を年3回開催し、本校の教育活動への評価及び、本校の発展について意見交換の場をもちます。 ○保護者アンケートで本校の教育活動に対して肯定的な回答した保護者の割合80%以上を目指します。
	インターンシップの充実	○キャリア教育サポートセンター主催インターンシップ(夏期、冬期、春期)3回を実施するとともにアカデミック・インターンシップを含むインターンシップへの参加を促し、参加率90%以上を目指します。
郷土の伝統・文化に関する教育の推進	○「総合的な探究の時間」で行う「ならまち探索」や「正倉院訪問」等、奈良に関する探究活動を通じ、郷土奈良への理解を深めます。 ○本校の取組を通して「郷土への理解や興味が高まった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。	
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	○いじめやことと生活等に関するアンケートを年2回以上実施します。 ○アンケート結果を分析し、適宜「いじめ問題対策委員会」を開き、それぞれの事案に迅速に対応します。 ○校内での人間関係に関する満足度90%以上を目指します。
	不登校対策の推進	○専門家や関係機関と連携し教育相談体制を充実させます。 ○定期的な不登校対策のための情報共有の場をもちます。 ○生徒アンケートで本校の教育相談体制について理解している生徒の割合80%以上を目指します。
	人権教育の推進	○『なかまとともに 高等学校』(奈良県教育委員会発行)を、人権教育のホームルーム活動で積極的に活用します。 ○毎月11日の「人権を確かめ合う日」にあわせ、啓発プリントを発行し、生徒が人権意識の醸成を図ることのできるよう、教材を提供します。 ○本校の取り組みを通じ「人権に対する意識が高まった」と実感した生徒の割合90%以上を目指します。

奈良県立高田高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)	「自強・和敬・創造」の校訓のもと、生徒各自が進路実現を果たし、地域社会を創生・牽引する人材や、教員として奈良県教育を支える人材の育成を目指します。
教育方針 (スクール・ポリシー)	<p>入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 向上心や探究心、知的好奇心があり、何事にも挑戦できる生徒</li> <li>2 将来の目標に向けて、学習や部活動に取り組む意欲をもつ生徒</li> <li>3 ルールやマナーを遵守し、互いに尊重しながら他者と協力することのできる生徒</li> <li>4 地域や社会に関心をもち、地域社会の課題解決に取り組む意欲をもつ生徒</li> <li>5 教員を志し、教育について自ら考え、学ぶ意欲をもつ生徒</li> </ol>
	<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p> <p>本校の使命(スクール・ミッション)を実現するために、以下のとおり教育課程を編成・実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 探究活動                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が主体的、創造的に取り組む資質・能力を身に付けることができるように「総合的な探究の時間」を中核としたカリキュラムを編成します。</li> <li>(2) 生徒がコミュニケーション能力や情報発信能力を伸ばすことができるように協働的な学びや発表の機会を創出します。</li> <li>(3) 生徒が意欲的に探究活動に取り組む、課題発見・解決力を習得できるように教科横断的な学びを充実させます。</li> </ol> </li> <li>2 進学教育                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が自分自身の成長を実感できるようにカリキュラムを編成し、組織的・計画的に学力向上を図る取組を進めます。</li> <li>(2) 生徒が学習への興味関心を高め、主体的に学ぶように授業研究を推進するとともに、教育DXを効果的に活用します。</li> <li>(3) 生徒が多様な進路を実現できるように実力養成講座や講演会等を充実させるとともに、大学見学会を実施します。</li> </ol> </li> <li>3 人権・協働                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が人権意識を高められるように日々の教育活動を通じて多様性が尊重される学校づくりを実践します。</li> <li>(2) 生徒が豊かな人間性を身に付けられるように生徒が主体となって学校行事を進め、生徒会活動や委員会活動を中心に部活動や課外活動に積極的に取り組む環境を整えます。</li> </ol> </li> <li>4 社会貢献                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が自己有用感を高められるように様々な学校行事を通じて他者との関わりを大切に取組を実施します。</li> <li>(2) 生徒が主体的に社会に参画する意識や社会貢献の精神を身に付けられるようにボランティア活動や地域社会との交流活動を推進します。</li> </ol> </li> <li>5 教育アンビシャスコース                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内の小中学校等と連携して小学校体験実習を行い、実践的な教育プログラムを実施します。</li> <li>(2) ディベートや集団討論を通して教員として必要なコミュニケーション力を身に付けられる活動を充実させます。</li> <li>(3) 教育について専門的学びを深めることができるように連携大学等から講師を招いて特別授業を行います。</li> </ol> </li> </ol>
	<p>育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</p> <p>本校では、以下の資質・能力を身に付けた生徒に卒業を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 探究心をもって課題を設定し、それを解決し論理的に表現することができる。</li> <li>(2) 身に付けた幅広い知識と主体的に学ぶ資質・能力を卒業後も生かし、自己の将来を開拓・実現できる。</li> <li>(3) 他者を尊重し、社会の中核を担う存在として多様な人々と協働することができる。</li> <li>(4) 社会の一員としての自覚をもち、地域の人々に愛され、郷土の発展に貢献できる。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	生徒の主体的な学びの実現に向けた授業改善	・授業アンケートで、「この授業を通して、主体的に学ぶことができている」の項目において、肯定的な回答が85%以上。
	探究活動の拡充による魅力化・特色化の推進	・探究活動に関する講演会や出前授業を年5回以上実施。 ・授業アンケートで、分野別発表会及び探究発表会の生徒満足度が80%以上。
	生徒の進路実現を図る進学教育の充実	・生徒アンケートで、進路実現に向けた取組に関する項目において、肯定的な回答が90%以上。 ・総合型選抜や学校推薦型選抜による国公立大学への出願者数が70人以上。
	教育DXの活用による生徒の情報活用能力の育成	・生徒アンケートで、学習プラットフォームを活用した自主的学習に関する質問において「できた」と回答する生徒が95%以上。
	読書活動の推進	・生徒アンケートで、学校での読書活動を通して、読書に対して「意識が高まった」と回答する生徒が90%以上。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	・「総合的な探究の時間」の取組を通して、「地域理解や郷土愛が深まった」と回答する生徒が70%以上。
	生徒の体力の向上	・新体力テストのA・B判定の生徒が60%以上。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革の推進	・教員の心身の健康保持増進のため、すべての教員の超過勤務時間が月45時間未満。
	実践的な防災教育の充実	・避難訓練やホームルーム活動を通じ、実際に地震、火災が発生した際に、学んだことが「実践できる・活かせる」と回答する生徒が100%。
	学校安全に関する教員の資質向上	・学校生活における生徒の安全確保のために危機管理マニュアルを更に充実させるとともに、リスクマネジメントに関する研修を年3回以上実施。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進とインターンシップの充実	・社会人講座やインターンシップへの積極的な参加を促す。社会人講座への参加人数が年間で240人以上。 ・インターンシップへの年間の応募人数が50人以上。
	教育アンビシャスコース小学校体験実習の更なる充実	・小学校体験実習後のアンケートにおいて、主体的に取り組む、学びが深まったかを確認し、実習における生徒満足度が100%。
	学校と家庭との連携・協働の推進	・保護者アンケートの学校と家庭との連携・協働に関する項目において、肯定的な回答が90%以上。
	生徒の地域学校協働活動の充実	・生徒の活動が地域課題の解決に貢献したり、小中高間連携を行った事例を年8件以上。 ・生徒の事後アンケートで満足度が90%以上。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底	・いじめアンケートの結果に基づく個人面談(年3回以上)や啓発活動(年3回以上)を通して、いじめ解消率100%の実現。
	特別支援教育の充実	・支援を要する生徒の授業アンケートにおいて、「先生の説明や指示、問いかけ、板書などがわかりやすかった」と回答した生徒が100%。
	共生社会の実現に向けた教育の推進	・生徒アンケートで多様性を尊重する態度や他者への共感力が「身に付いた」と回答した生徒が90%以上。

奈良県立郡山高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「誠実・剛毅・雄大」の校訓のもと、明治26年創立より培われた文武両道の精神を基礎に、主体的に社会の課題に取り組み、国際社会においてリーダーとして貢献できる人材を育成する。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 集団の中において自らの役割を理解し、自ら考え積極的に貢献しようとする生徒 2 基礎的学力を身に付けた上で、課題を解決できる力を伸ばそうとする意欲のある生徒 3 部活動や学校行事などに参加し、自らの人間力を高めようとする生徒 4 自他尊重の精神を持ち、人を大切にする意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、新しい時代を切り開くための資質・能力を育成するために、確かな知識理解力や思考力を身につけ自ら考えることのできる確かな学力と豊かな心情や健やかな身体を育成することを目指し、以下の方針を示します。 1 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく培い、進路実現につなげることに注力する。 2 新しく構築した総合的な探究の時間を軸に、各教科に渡り応用力を磨く。 3 学校行事や地域活動への参加を活発にし、集団としての行動力やコミュニケーション力を身に付ける。 4 部活動を通して人間力を高める活動を大切にする。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 卒業後も向上心を絶やすことなく、自ら学び続けることができる。 2 自分を大切にし、人を思いやり、集団の構成員としての役割を果たそうとする心情を確固とする。 3 新しい時代を切り開こうとする気概を持ち、有為な人材として社会に積極的に参加しようとする意思を持つ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	学校行事に関わる意欲向上	学校行事に意欲的に取り組めたとの回答95%以上
	読書意欲の向上	生徒実態調査、ビブリアノバトル後アンケートで関心の高まり70%以上
	探究的取組に向けての授業改善	授業アンケート質問項目「生徒の主体的な活動ができる。」の回答が4段階評価の3.5以上
	奈良TIMEに関わる学びの満足度(%)	プレゼンテーション後のアンケート 満足度95%以上
	人権教育学習の充実	人権HRに取り組む姿勢の自己評価が、5段階評価で4以上の生徒が80%以上
	グローバルな視点・経験の育成	リーダー育成海外研修参加者アンケート満足度90%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	基本的な生活習慣の確認	挨拶自己達成率90%以上 美化活動への積極性を育む。生徒実態調査で「清掃に取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、90%以上。
	部活動の充実	部活動加入率90%以上 満足度95%以上
	ICTを活用した教育活動	ICT機器を活用した授業を80%以上実施。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	学校における働き方改革	毎月1回の定時退勤日を設定
	アカデミックインターンシップへの参加	参加人数30人以上
	地域行事への参加	3つの地域行事のボランティアへの参加者数延べ40名以上
	学校運営協議会の効果的運営	学校運営協議会を年2回以上開催かつ校内を見ていただく機会を2回以上実施
	学校と家庭・地域をつなぐ情報発信の向上	HP及び学校紹介動画など情報発信をする事業の充実(高評価90%以上)と、情報発信の方法の整備と強化。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	特別な支援や配慮を要する生徒への対応力強化	スクールカウンセリング相談者の満足度90%以上
	基礎体力の向上	体力テスト2,3年平均Tスコア50以上、前年度の平均記録の更新
	学習意欲の向上	授業アンケート質問項目「学ぶことへの意欲が高まる。」4段階評価の3.5以上 進路指導部主催の学習意欲向上に関する行事におけるアンケートの満足度を90%以上にする。
	進学率の向上	現役生徒の大学進学率を90%以上にする。
	探究活動資料の充実	探究活動資料の図書館での利用度が、アンケートで50%以上
	キャリア教育の充実	キャリア教育の充実に関する行事におけるアンケートの満足度を90%以上にする。

奈良県立大和中央高等学校(定時制課程) 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供</li> <li>・生徒の「個別最適な学び」や「学び直し」等に対する支援</li> </ul>
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本校の教育方針や教育内容を理解し、目標に向け自らの意志で学ぼうとする意欲をもつ生徒。</li> <li>2 自分の生活リズムや職業等に合わせて学び、高等学校卒業を目指す生徒。</li> <li>3 基本的な生活習慣、基礎的・基本的な学力、規範意識等、社会で必要な力を身に付けたいと願う生徒。</li> <li>4 新たな学校生活の中で自分を見つめ、新しい自分の発見や成長を目指す生徒。</li> <li>5 多様な価値観や一人ひとりの違いを認めつつ、仲間と共に高め合いたいと願う生徒。</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、以下のような教育活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 単位制の特徴を生かし、生徒が自らに適した教科・科目を積極的に選択できる教育課程を編成。</li> <li>2 基礎的・基本的な学力の充実や社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力の習得を目指す学校設定科目を設定。</li> <li>3 共通科目に加え、商業科・家庭科等において、生徒の資格・検定等の取得につながる専門科目を設定。</li> <li>4 高等学校卒業程度認定試験や各種検定等で取得した単位を卒業単位として認定するなど生徒の積極的な学びを評価し、3年修業による卒業の選択も可能。</li> <li>5 定期的なスクリーニング等によるきめ細かい生徒理解に努め、SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)や関係機関等と連携した支援を推進。</li> <li>6 多様な生徒の学びを保障するため、UDL(学びのユニバーサルデザイン)を意識した授業づくりを推進。</li> <li>7 生徒の学習上・生活上の困難等の改善・克服を図るため、「通級による指導」を実施。</li> <li>8 HRや総合的な探究の時間、部活動等を通して、生徒の社会性や人権意識の醸成、自己管理能力や望ましい勤労観等の獲得、進路実現等を支援。</li> <li>9 BYODの活用等、ICTを活用した教育活動の充実。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校定時制課程では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自主自立の精神をもって自分がなすべきことを適切に判断し、行動できる力。</li> <li>2 情操豊かな心をもって、自他の人格を尊重できる態度。</li> <li>3 自ら進んで目標を定め、その達成に向け真剣に努力し、未来を切り開いていけるたくましさ。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケート「授業が理解できた」肯定的回答の割合の増加(95%以上)
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」授業アンケート「自分はこの授業に熱心に取り組んだ」肯定的回答の割合の増加(85%以上)
	特別支援教育の推進	特別支援教育に関する研修について、参加者の満足度の増加(肯定的回答95%以上)
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	働き方改革の推進	年間の時間外勤務の1ヶ月平均が45時間超の教職員割合の減少(前年比)
	定時制課程、単位制課程に特化した研修会等への参加	参加者の満足度の増加(肯定的回答95%以上)
	学校安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練による防災意識の向上(肯定的回答前年比)</li> <li>・危機管理マニュアルの改訂などによる教職員の安全点検意識の向上(肯定的回答前年比)</li> </ul>
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	インターンシップに参加する生徒の増加(前年比)
	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会委員を招いた講演会について、内容の理解度の増加(肯定的回答85%以上)
	地域に根ざした生徒会活動の充実	地域清掃活動や「やまとの夏まつり」等への参加による持続可能なボランティア活動の継承と参加者の満足度の増加(肯定的回答85%以上)
4. 誰一人取り残さない教育の推進	人権教育学習の充実	学習後の満足度の増加(肯定的回答90%以上)
	いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	生徒アンケート「いじめや差別を許さないという意識で学校生活を送っている」肯定的回答の割合の増加(95%以上)
	不登校等の様々な問題を抱える生徒への支援	生徒アンケート「先生は、親身になって接してくれ、気軽に相談できる」肯定的回答の割合の増加(95%以上)

奈良県立大和中央高等学校(通信制課程) 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		・生徒の学習ニーズやライフスタイル等に応じた学習機会の提供 ・生徒の「学び直し」や不登校生徒等に対する支援
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校通信制課程では、以下のような生徒を受け入れます。 1 「高校を卒業したい」という強い意志を持ち、真剣に学校生活を送ることができる生徒。 2 通信制で学ぶ基本となる「時間の管理」ができる生徒。 3 卒業後の進路目標や目的意識を明確に持ち、「自学自習」ができる生徒。 4 自己を高め、個性を大切にし、一人一人の違いを認められる生徒。 5 何事にも粘り強く取り組むことができる生徒。 6 基礎学力が身に付いており、さらに学力を伸ばそうとする意欲ある生徒。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校通信制課程では、「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、以下のような教育活動を行います。 1 自学自習がスムーズに行えるように、スクーリング(面接指導)で学習の方法を丁寧に指導。 2 総合的な探究の時間「つどい」では、学習意欲、自尊感情、勤労観、自己表現力等の向上。 3 日曜コースと平日コースを設け、自分のライフスタイルに応じた学びを設定。 4 個別の「自学自習」を支援するために、毎週1回、生徒相談日を設定。 5 自学自習に適したレポートを作成し、丁寧な添削指導の実施。 6 「生徒交流会」や「夏まつり」などの学校行事を特別活動として認定。 7 郷土を愛する心を育むことを目的とした「生活文化の伝承」や「奈良TIME」では、探究心を高める共に地域と密接に連携した教育活動を実施。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校通信制課程では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 社会的自立に必要な生きる力、基礎的な学力、勤労観。 2 自尊感情を高め、互いの人権を尊重し、命を大切にする心と行動力。 3 意欲的に学びに向かう力と、粘り強く目標に向かって努力する態度。 4 自ら考え判断し、計画的に行動できる力や自己管理能力。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けたスクーリング	・規定回数出席する生徒数の増加(80%以上) ・生徒アンケート「スクーリングは学習内容の理解に役立っている」肯定的回答の割合の増加(85%以上)
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	・「奈良TIME」「生活文化の伝承」選択者の満足度の増加(肯定的回答80%以上)
	特別支援教育の推進	・特別支援教育に関する研修について、参加者の満足度の増加(肯定的回答90%以上)
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	働き方改革の推進	・年間の時間外勤務の1ヶ月平均が45時間超の教職員の割合の減少(前年度比)
	通信制課程に特化した研修会等への参加	・参加者の満足度の増加(肯定的回答95%以上)
	学校安全の推進	・避難訓練による防災意識の向上(肯定的回答前年比) ・危機管理マニュアルの改訂などによる教職員の安全点検意識の向上(肯定的回答前年比)
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	・インターンシップに参加する生徒の増加(前年度比)
	コミュニティ・スクールの運営	・学校運営協議会委員を招いた講演会について、参加者の満足度の向上(肯定的回答85%以上)
	地域に根ざした生徒会活動の充実	・「順慶まつり」参加者の満足度の増加(肯定的回答85%以上)
4. 誰一人取り残さない教育の推進	人権教育学習の充実	・参加者の満足度の増加(肯定的回答85%以上)
	いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	・生徒アンケート「いじめや差別を許さないという意識で学校生活を送っている。」肯定的回答の割合の増加(95%以上)
	不登校等の様々な問題を抱える生徒への支援	・生徒アンケート「先生は、親身になって接してくれ、気軽に相談できる。」肯定的回答の割合の増加(95%以上)

奈良県立添上高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
学校教育目標 (育成したい資質・能力)		自立した社会人の育成 社会に役立つ仕事ができる …『誠』職業観(勤労観)の育成、奉仕の精神の醸成 心身が鍛えられた人材の育成 …『力』健康観(食育)の育成、諦めない精神力の育成 仲間と共に働くことができる …『愛』協働の精神(望ましい人間関係の構築)
本校の使命(スクールミッション)		伝統と新しい息吹を備えた魅力ある学校、「行きたい 行かせたい」と思う学校 (具体像) 1 学習と部活動を両立し、生徒一人一人が自己実現、進路実現ができる学校 2 特技や専門分野を伸ばすことができる学校 3 奈良県の体育学習、スポーツ活動の中核となり、教育力を発信できる活力ある学校
(スクールの教育方針)	入学者受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)	添上高校は、明るい笑い声と元気な挨拶が校舎に響き渡り、「誠・力・愛」の校訓を掲げる活気あふれる学校です。 誠…『素直で、真面目な心』、『世のため、他人のために尽くす心』 力…『諦めない心』、『道を究めるために、努力を怠らない心』 愛…『人を敬う心』、『他人の喜びを、自分の喜びとできる心』 本校では、様々な活動を通して、生徒一人一人が自分の夢を見つけ、互いに夢について語り合い、励まし合って、共に成長できる生徒を求めています。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	○ 確かな学力の育成 …授業の質を高め、生徒一人一人に応じた指導方法や評価方法を導入する。 ○ けじめある生活の確立…基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識の向上や遵守する姿勢を醸成する。 ○ 進路希望の実現 …進路補習の充実や効果的な模試の活用により、3年間を見据えたキャリア教育を行い、進路実現を図る。 ○ 特色ある学校づくり …部活動の活性化やスポーツを通じた地域貢献、ICTの活用による学力伸長などを進める。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">普通科</p> <p>[1年生] 基礎学力の定着・向上を目指す。</p> <p>[2・3年生] 文 型…幅広く学習し、進学・就職等の様々な進路に対応。 文理型…進学に重点をおく。 3年次からは 私立大学文系コース、 国立大学文系コース、 理数系コースの3つの コースに分かれ、選択授業により、様々な進路希望に対応。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">人文探究コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画による知識・技能の学習と授業での探究的な活動により思考力・判断力・表現力を身に付ける。</li> <li>・ICTを活用し、コミュニケーションツールとして総合的な英語力を身に付ける。</li> <li>・地域課題の解決に向けた探究活動で実践的な力を身に付ける。(フィールドワークとプレゼンテーション)</li> <li>・探究的な授業は3年間で20コマ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">スポーツサイエンス科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリート、体育指導者の育成。</li> <li>・指定9クラブに加入し、3年間、継続的に活動。</li> <li>・実践力を養う三大実習 水泳実習(1年次) スキー実習(1年次) 野外活動実習(2年次)</li> <li>・卒業研究 …各自の競技種目で研究テーマを設定し、探究活動を行う。</li> <li>・スポーツを通じた地域貢献 …幼稚園、小学校での運動指導。</li> </ul> </div> </div>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	未来に「夢と志」をもち、その実現に向けて勇気と剛直な精神で挑む、活力と自信に満ちた生徒を育成します。 (目指す生徒の具体像) 1 礼節を重んじ、人間性豊かな「くじけない、諦めない」生徒 2 自ら考え、積極的に仲間と協働することにより、自信と誇りをもつ生徒 3 自己の目標を確立し、達成のための努力を怠らない生徒

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和10年度末目標値等
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	新しい時代に求められる資質・能力の育成	学びの実感・授業への取り組みに関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 生徒の可能性を上げ、自己肯定感を高めるために部活動加入率80%以上。 各競技団体と連携した取組を年間50回以上開催。 科やコースにおける特色ある教育活動に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。
	教育DXの推進	授業の内容や分かりやすさに関するアンケートで、生徒の肯定的な回答が90%以上。 各先生方の年間の授業のうち、30%以上で双方向型学習ツール(ロイノート等)を活用。
	豊かな心の育成	規範意識、ボランティア活動、公共心に関するアンケートで肯定的な回答が80%以上。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIMEに関わる学びの満足度に関するアンケートで肯定的な回答が80%以上。
	読書活動の推進	朝読書週間後のアンケートで関心の高まりが70%以上。 生徒の図書貸出冊数を前年比1.2倍以上。
	健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	健康・運動に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 健康診断後の受診率・治療率の向上(60%以上) 朝食摂取率90%以上。 体力テストにおいてA判定の生徒がSS科で100%、普通科で30%以上。
	特別支援教育の推進	週1回の教育相談部会、月1回の教育相談委員会を開催。 「こころと学校生活に関するアンケート」の「教師関係」の項目の評価が2回平均で3.5以上。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	教職員のストレスチェックにおける[総合健康リスク]の80%以下。 各教職員で定時退校日を設定し、週1日以上の定時退校を実施。
	教職員の資質向上	授業満足度・授業への取組に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上の教員が半数以上。 70%以上の教員が教育研究所等が主催する研修会等を受講。
	学校安全の推進	校内の環境整備に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 年間1回以上の避難訓練を行い、安全確保に向けた指導を徹底。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の充実	進路に係る情報提供に関するアンケートで肯定的な回答が80%以上。
	インターンシップの充実	インターンシップ(アカデミック・インターンシップを含む)の参加率50%以上。
	学校・家庭・地域の連携・協働の推進	「学校評価総括表」に対する学校運営協議員によるA評価が70%以上。 ボランティア活動や清掃活動などに関するアンケートで肯定的な意見が80%以上。
	社会教育の推進	進路実現を目指した活動に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 社会体育に関する研修会や講習会を年間10回以上開催する。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	いじめや人権に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 友人関係や相談できる相手に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。
	不登校対策の推進	(再掲)週1回の教育相談部会、月1回の教育相談委員会を開催。 「こころと学校生活に関するアンケート」の「学校が好き」の項目の評価が2回平均で3.2以上。
	人権教育の推進	人権に関するアンケートで肯定的な回答が90%以上。 人権教育に関する職員研修を年間3回以上開催。

奈良県立二階堂高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なりたい自分」の実現に向けて、主体的にキャリアデザインに取り組む人材を育成します。</li> <li>・主体的な課題設定による探究活動により、「社会人基礎力」を育み、社会に貢献する人材を育成します。</li> </ul>
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校のスクールポリシーを理解し、その実現に向けて意欲的に学ぶ人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 将来の夢をもち、自身の判断と責任において未来を切り拓こうとする人</li> <li>2 様々なことに興味をもち、主体的に学習に取り組む人</li> <li>3 自らの能力を向上させるため、意欲的に課外活動(部活動・資格取得講座・進路セミナー・インターンシップ等)に取り組む人</li> <li>4 社会の一員として自覚ある行動をとり、地域社会に貢献したいと考えている人</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>自分のキャリアデザインの実現に向けて、協働的な探究活動を通し社会人基礎力を身に付けることを教育目標とし、以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多彩な学校設定科目を設定し、生徒のキャリアデザインに応じた科目選択ができるようにします。</li> <li>2 論理的思考力を身に付けるために、プレゼンテーションやディスカッション等を取り入れた協働的な探究活動を展開します。</li> <li>3 主体的に物事に取り組むことができるようインターンシップをはじめ、様々なキャリアプログラムを提供し、学びに向かう力とコミュニケーション能力を育てます。</li> <li>4 教育活動において、自身の立場・役割を理解し、規律ある学校生活の中で、目的意識をもって行動できるよう育成します。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を身に付けている。</li> <li>2 広い視野をもって、人生100年時代に向けてのライフプランを持っている。</li> <li>3 コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重することができる。</li> <li>4 情報を活用し、幅広い視点で物事を考え、状況に応じて柔軟に対応することができる。</li> <li>5 自己の能力・資質を活用し、社会の持続的な発展に貢献することができる。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善	公開授業や授業見学を通して教員の授業力を向上し、生徒の授業に対する満足度80%以上
	子どもの健康課題を踏まえた学校保健活動の充実	保健に関するカウンセリングを充実させ、検診受診者を100%
	学校における体系的で継続的な食に関する指導の充実	生徒の朝食摂取率の目標値100%
	子どもの体力・運動能力、運動習慣等の向上	HR活動等において運動する機会を年6回以上設定
	学習意欲の向上と自立した主体的な学びの実現	高等学校在学中に2種類以上の検定取得者の割合50%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革の推進	毎週1回の定時退校日を実施
	避難訓練等を通じた防災教育の充実	避難訓練等を通じて防災について学ぶ機会を年4回実施
	個別的教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用	職員研修やケース会議等の特別支援教育に関する情報共有を年間12回以上実施
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	地域・学校の連携・協働の推進	地域等と協働した社会参加活動を年5回実施
	地域と協働したキャリアプログラムの提供	高等学校在学中に、インターンシップ等の校外でのキャリア行事への参加率100%
	地域と協働した郷土の課題等に関する探究的な学びの推進	総合的な探究の時間「社会人基礎力」における生徒の授業に対する満足度80%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底	いじめの解消率100%
	HRや各教科学習における、人権尊重の理解と認識を深める取組の創出	取組を通して「人権に対する意識が高まった」と実感した生徒の割合80%以上
	高等養護学校二階堂学舎と授業や行事を通し、お互いを尊重する心の育成	高等養護学校との授業や行事での交流活動の生徒満足度80%以上(交流を年間12回以上実施)

奈良県立橿原高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	「橿高バラルアーツ教育」 多分野にわたる教科学習や学校行事、部活動など、すべての教育活動を互いに関連付けて実施することで、物事を多角的に見る力と多様性を理解する力を磨き、自ら課題を発見し、それを主体的かつ協動的に解決する能力を身に付けたより良い未来の社会の担い手を育てます。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 何事に対しても分け隔てなく、好奇心と探究心をもって取り組み、自らの可能性を広げるために努力する生徒 3 常に高い目標をもち、失敗を恐れず何事にも全力で挑戦し、自己実現を目指す生徒 4 多様な生き方・考え方を尊重し、節度をもって行動する生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、教職員と生徒が一体となって信頼と愛情に満ちた明るい学園をつくり、心身ともにたくましく心豊かな若人を育てるため、以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味関心に幅広く対応できるカリキュラムを編成します。 2 校内外における生徒の様々な活動をおとして、多様な他者と協働する力と豊かな人間性を育成します。 3 課題探究型の学習活動を推進し、主体的に取り組む態度と論理的な思考力を養い、自己実現に向けて不断の努力を積み重ねることができる生徒を育みます。 4 特色ある学校行事や課外活動などをとおして、生徒のグローバルマインドセットを養い、国際社会に対応できる能力を涵養します。 5 地域との連携と協働を推進し、生徒のものの見方・感じ方・考え方を豊かにするとともに、自己の有用性を自覚させ、生き生きと活動する態度や前向きに思考する姿勢を醸成します。 6 ゲストティーチャーを招聘し、生徒が本物の生きた体験から学ぶことで、自らを最大限活かす社会に貢献しようとする姿勢を醸成します。 7 上記の教育活動をおとして、自己の有用性を自覚し、積極的に活動する姿勢(「個人の well-being」)を醸成するとともに、自らと社会のwell-beingをつなぎ合わせて、それら総体(「自身と社会の well-being」)としての向上について考える姿勢を醸成します。 8 教員は、生徒の深い学びを支えるため、常により良い授業を目指し日々改善を重ねるとともに、幅広い知識と教養を身に付けます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 自己の可能性を最大限に広げるために、何事に対しても主体性をもって挑戦し、粘り強く取り組むことができる。 2 社会の急速な変化に対応しながら、様々な事柄に興味・関心をもち、真理の探究に向け学び続けることができる。 3 多様性を認め、他者との協働を重んじ、自ら課題を見だしその解決に向けて力を尽くすことができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を ぐむ学校教育の推進	【個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に向けた授業改善】現在の学習評価改善の取り組みを更に推進し、評価の機会と方法の多様化に向けた授業改善を通して、多面的な評価を実現することで、個別最適な学びと協動的な学びの充実を目指す。	○多様な評価方法の研究のため、日頃より授業の相互観察や情報交換を積極的に行い、各教員が年3回以上の授業観察を行う。 ○授業アンケートの「授業の内容に満足している」と回答する生徒の割合を90%以上にする。(現状値 88%) ○学年末評価に占めるペーパーテスト以外の評価材料の割合を3分の2以上にする。
	【学校の魅力化・特色化】現在の高い学校満足度(80%以上)を維持しつつ、授業や学校行事、部活動とともに本校ならではの教育活動を推進することで、生徒一人ひとりの個性と可能性を最大限に引き出す魅力あふれる学校づくりを目指す。具体的には、特色ある教育プログラム(中高連携、国際理解等)を展開することで、生徒の主体的な学びと成長を支援し、地域社会からも高く評価される学校を目指す。	○橿高生活アンケートの「学校生活に満足しているか」の質問に対して「大いに満足」「ほぼ満足」の割合を90%以上にする。(現状値83.4%) ○学校生活で身についた力として「物事を多角的に見る力と多様性を理解する力」、「自ら課題を発見し、それを主体的かつ協動的に解決する力」と回答する割合をそれぞれ70%以上にする。
	【郷土の伝統・文化に関する教育の推進】郷土の豊かな伝統文化を次世代に継承し、地域への愛着と誇りを育むとともに、多様な価値観を理解し、主体的に未来を創造する力を育成する。具体的には1年時の総合的な探究の時間(DS)での奈良タイムの取組を通じて、伝統文化への理解深化、地域社会の課題認知、体験的な学習機会の充実、情報発信能力の育成を目指す。	○1年時の奈良タイムによって理解した事項として「地域の伝統、文化、歴史などに関すること」、「地域の課題やその解決に向けた対策などに関すること」と答えた割合を80%以上にする。
	【国際理解教育の推進】国際理解に関わる活動を3年間を通して計画的に行い、それらの活動に積極的に参加することでグローバルマインドを養い、国際社会に対応できる能力を育成する。	○年3回以上、校内で国際理解新聞を発行する。 ○橿高生活アンケートの「国際理解に関わる取組に満足しているか」の質問に対して「大いに満足」「ほぼ満足」の割合を85%以上にする。(現状値77.4%)
	【読書活動の推進】SSR(持続的読書)を実施し、読書だけでなく朗読を聞く機会を増やし、読書習慣を確立するとともに、読書量の増大と満足度の向上を図る。	○橿高生活アンケート1,2年生徒の「1年間の読書数」の質問に対して「5冊以内」の割合を50%以下にする。(現状値76.1%) ○橿高生活アンケートの「SSRに満足しているか」の質問に対して「大いに満足」「ほぼ満足」の割合を85%以上にする。(現状値75.1%)
	【食に関する指導の充実】食育委員会と各教科が運動し食の大切さを伝える授業を展開するとともに、家庭とも連携し、生徒の食事が充実したものとなり、健康的な生活を送れるよう啓発活動を行う。	○新体力テストにおけるアンケート項目の、朝食摂取率を85%以上にする。(現状値77%)
	【体力・運動能力、運動習慣等の向上】体育の授業や部活動をおとして、健康教育を行う。体育の授業の活動が生徒一人一人の日々の生活の中での運動習慣につながるよう、授業を工夫し、健康の大切さを伝える。	○新体力テスト体力合計点(全8種目)の学校平均偏差値男子50以上、女子47.5以上にする。(現状偏差値男子49.2、女子46.7) ○新体力テストのアンケートで「1日の運動・スポーツの実施状況」の項目において、運動を実施しないと回答する割合を25%以下にする。(現状値33%)
【特別支援教育の推進】生徒支援特別委員会をおとして、生徒一人一人の情報を多くの教員で共有し、きめ細やかな支援体制を構築する。	○個別の教育支援計画を活用した支援会議(「生徒支援特別委員会」)を学期に1回以上開催する。	
2. 学校における教育の基盤となる教育 環境、体制の整備の推進	【学校における働き方改革】自主的な勤務時間の管理を推進により超過勤務職員数を減少させるとともに、職員の健康管理の徹底を図る。また、働きやすい職場を目指し、職員間の同僚性の向上を図る。	○出退勤システムを活用しての自主的な勤務時間の管理を推進し、月45時間の超過勤務職員延べ数を10以下にする。 ○ストレスチェックのアンケートにおいて「同僚のサポート」の平均点数を8.8以上にする。(現状値8.6)
	【教育環境の整備】計画された教育活動が校内及び教室内で円滑に遂行できるように校内の生活環境及び学習環境を整備する。また、物を大切にすることにより、周囲の人や物を敬う気持ちを醸成する。	○環境整備委員と教員による校内設備の点検を年3回実施し、各教室の備品を整理・確認し、不備があれば補充または修理依頼する。 ○橿高アンケートにおいて「校内の環境美化に努めた」と回答する生徒の割合を85%以上にする。(現状値 82%)
	【学校安全の推進】平常時から生徒及び教員が学校安全の意識を高め、緊急時にスムーズに対応できる力を養う。	○避難訓練を年に1回実施し、生徒の学校安全の意識を高めるとともに、職員向けの防災研修を年1回実施する。 ○橿高アンケートにおいて「避難訓練等から防災の意識が高まった」と回答する生徒の割合を80%以上にする。

3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	【キャリア教育の推進】社会人講師による講演等をおして正しい職業観を養う。 インターンシップ等職業体験学習を推進する。	○講演会の開催を年度あたり3回以上実施する。 ○県教育委員会実施の長期休業中インターンシップ等に参加した1・2年生をのべ40名以上する。(現状値18名)
	【進学教育の推進】各学年において、段階的に進学に向けての心構えを養う。オープンキャンパスやアカデミックインターンシップ等に、2年生以上は全員1回以上参加する。	○学年別糧高大学(校内大学等模擬体験)を開催し、各学年の満足度を75%以上とする。(現状値1、2年平均73%、3年生は実施なし) ○オープンキャンパスやアカデミックインターンシップ等に、2年生以上の生徒全員が1回以上参加する。(現状値91.5%)
	【中高連携・地域連携の推進】糧原市中高連携事業の締結書に従い、本校と市内中学校の生徒及び教員の積極的な交流を行う。また、地元の行事及びイベント等に本校生徒が積極的に参加し、地元の方々と交流する機会を増加させる。	○本校と市内中学校の生徒及び教員の相互交流や協働による活動を年間に10回以上実施する。 ○本校生徒が地元自治体等で開催されるイベントへ参加する機会や地元施設へ訪問する機会を年間に10回以上計画し実施する。 ○行事実施後のアンケートにおいて参加者の満足度及び高評価の割合を90%以上にする。(現状値 84%)
4. 誰一人取り残さない教育の推進	【いじめ防止対策の推進】学年会議において学年内で生徒情報を共有するとともに、学年主任者会において学年間でも情報共有する。いじめ防止対策委員会対象となる生徒への対策を多くの教員で検討し、いじめの未然防止及び「見逃し0」を目指す。	○いじめのアンケートを学期に1回以上行う。 ○いじめ防止対策委員会を学期に1回以上開催し、教員間でいじめの未然防止に努める。 ○人権を確かめ合うアンケートにおいて「人をいやな気持ちにさせたことがない」と回答する生徒の割合を98%以下にする。(現状値96%)
	【不登校対策の推進】不登校傾向にある生徒本人及びその保護者から状況を丁寧に聞き取り、それぞれの生徒に応じた支援体制を構築する。リモート授業などの学習体制を整備し、支援が必要な生徒をサポートする。	○不登校傾向(年間欠席30日以上)にあるすべての生徒に対して学習等の支援の方策を検討し、職員間での共有を図る。
	【人権教育の推進】学校生活のあらゆる場面において、生徒の人権意識を高める活動を取り入れた教育を実践する。同和教育と絡めた人権教育を行うことにより、生徒の「やさしさ・思いやり」の感情を醸成するとともに、身の回りにおけるさまざまな差別について深く学ぶ機会をつくる。	○「3年人権学習アンケート」における「社会にある様々な差別について、それらをなくすための言動ができるようになりましたか。」の質問に対する肯定的な回答(①全くその通りであると思う ②まあまあ、その通りであると思う)の割合を85%以上にする。(現状値80%)

奈良県立畝傍高等学校(全日制) 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		知・徳・体の調和がとれ、自律的・創造的でグローバルな視野をもった、次代を切り拓くりーダーの育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解し、自らを鍛える意欲のある生徒 2 基礎的な学力が身につけており、学ぶ意欲の高い生徒 3 自ら学び、自ら考え、自ら行動しようとする姿勢を備えた生徒 4 人間尊重の精神をもち、自らの使命を理解して社会に貢献する意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、本校の使命(スクール・ミッション)を実現するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。 1 生徒が自らの興味や関心、個性に応じた学びを実現することが可能なカリキュラムを編成します。 2 生徒が物事を俯瞰し多角的に考える習慣や、論理的な思考力を身につけられるよう、探究的な学びを中核とした未来志向の教育活動を展開します。 3 生徒が社会のグローバル化の進展に対応できるよう、語学力やプレゼンテーション力等を養う教育プログラムを実施します。 4 開かれた学校として、外部の有識者や研究機関、企業等の協力を得、実社会の課題に即した教育プログラムを実施します。 5 生徒が生涯にわたって健やかな生活を送れるよう、自らの健康・安全を保持する知識・技能や体力を育成します。 6 生徒が協働・自治の精神や規範意識を身につけられるよう、自ら学校行事等の諸活動を企画・運営する機会を創出します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、校訓である「至誠、至善、堅忍、力行」の精神を涵養し、以下の資質・能力を身につけた生徒を育成します。 1 心の誠実さ、人としての善良さを、何ものにもまして大切にすることができる。 2 探究心をもち、目標が達成されることを信じて挑戦し、粘り強く努力し続けることができる。 3 グローバルな視野をもち、自らの社会的使命・役割を理解して積極的に行動することができる。 4 高い教養、深い思考、豊かな想像力を身につけ、新しい社会を切り拓こうとする気概をもつ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	各教科での探究型学習の充実	自分たちで考えるなど主体的に参加したと感じる生徒の割合 95%以上 生徒が主体的に課題を発見し解決する教育が行われていると感じる保護者の割合 90%以上
	ICTを活用した教育の推進	授業等でBYODを活用したとする生徒の割合 90%以上 情報セキュリティに関する事故やインシデントの発生件数 0件
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良Time等の活動をとおして、郷土の伝統文化に興味がある、大切にしたいと思う生徒の割合 90%以上
	読書活動の推進	日常的に読書を行っている生徒の割合 80%以上
	望ましい生活習慣の確立	基本的な生活習慣を身に付けるための指導が適切に行われていると感じる保護者の割合 90%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	特別支援教育の推進	生徒一人ひとりを大切にした指導が行われていると感じる保護者の割合 90%以上
	教員の働き方改革	職場ストレスチェックにおける「仕事の量的負担」全国平均値(8.7)以下
	教職員の資質向上	研修講座等に参加することにより、指導方法や評価等に工夫をすることができたとする教員の割合 90%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	学校安全の推進	学校は、生徒が安心して生活できる場となっていると感じる保護者の割合 100%
	インターンシップの充実	インターンシップやアカデミック・インターンシップ等への参加者 50名以上
	地域との協働や連携の充実	生徒会活動やボランティア活動が活発に行われていると感じる保護者の割合 90%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	コミュニティスクール運営の充実・改善	より良い学校づくりをすすめるために協議を行っているとした委員の割合 100%
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	悩みを他者に相談できる生徒の割合 95%以上
	教育相談体制の充実	保護者からの相談に教員は適切に対応していると感じる保護者の割合 90%以上 スクールカウンセリング制度が生徒理解や支援につながっていると感じる教職員の割合 95%以上
人権教育の充実	自分や他者が、一人一人のちがいを認め合うことができていると感じる生徒の割合 100%	

奈良県立畝傍高等学校(定時制)中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		多様な学びのニーズに応え、自立した社会人を育成します
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本課程では、以下のような生徒を受け入れます。 1 就労と学習の両立を望む生徒 2 学び直しを望む生徒 3 基礎学力の習得と向上を目指す生徒 4 社会的・職業的自立を果たすための自己研鑽を望む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本課程では、本課程の使命(スクール・ミッション)を実現するため、以下のとおり教育課程を編成・実施します。 1 基礎学力の定着と向上を図るカリキュラムを編成します。 2 在学3年での卒業(三修制)を可能とするカリキュラムを編成します。 3 生徒個々に応じた適切な指導を行います。 4 社会生活に必要な自立・自律心を育成します。 5 望ましい就労生活を送るためのキャリア教育を行います。 6 自他の敬愛と尊重の態度を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、校訓である「至誠、至善、堅忍、力行」の精神を涵養し、以下の資質・能力を身につけた生徒を育成します。 1 心の誠実さ、人としての善良さを、何ものにもまして大切にすることができる。 2 目標が達成されることを信じて、粘り強く努力し続けることができる。 3 社会人としての自覚と望ましい勤労観、自律心、生活習慣をもつ。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	探究型学習を充実と学習意欲の向上	探究的な学びの満足度と学習意欲に関する「授業アンケート」項目の肯定的回答 それぞれ80%以上
	ICTを活用した教育の推進	授業等で生徒がBYODを活用したとする割合 90%以上
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良の文化について発信活動を年2回以上実施し、「奈良を伝える」力が身についたとする生徒の割合 90%以上
	読書活動の推進	読書する習慣があるとする割合 80%以上
	望ましい生活習慣の確立と規範意識醸成指導の充実	家庭や勤務先と連携をとり、生活習慣を把握し、望ましい生活習慣へ改善する。挨拶運動や清掃活動を定期的に行う。規範意識醸成に関する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 98%以上
	健やかな体の育成	運動習慣向上に繋がる体育授業の充実に向けた取組の推進し、運動習慣が身につけている生徒の割合 90%以上
	特別支援教育の推進	生徒一人ひとりを大切にされた指導が行われていると感じる保護者・生徒の割合 90%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教職員の資質向上	研修講座等に参加することにより、指導方法や評価等に工夫することができたとする教員の割合 90%以上
	学校安全の推進	危機管理に関して、マニュアルを熟知し対応ができると考える教員の割合 100%
	学校における働き方改革	ワークライフバランスを意識した働き方を推進し、勤務の割り振りの実施した教員の割合 100%
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	インターンシップの充実	就職希望者のインターンシップへの参加 100%
	コミュニティ・スクール運営の充実・改善	よりよい学校づくりをすすめるために協議を行っているとした委員の割合 100%
4. 誰一人取り残さない教育の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	悩みを他者に相談できる生徒の割合 95%以上
	人権教育の推進	HRおよび講演会を充実させ、人権意識の向上を高める。人権意識の向上に対する「学校生活アンケート」項目の肯定的回答 100%
	不登校対策の推進	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを活用し、安心して登校できる環境を維持・充実させる。全体の出席率 90%以上

奈良県立商業高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		変化の激しい社会をたくましく生き抜き、地域経済の発展に貢献・活躍できる商業人材の育成
教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 基本的な生活習慣を身に付け、社会に対応できる資質・能力・ビジネスマナーを身に付けようと努力する生徒 2 商業に関する学習に興味・関心があり、各種資格・検定の取得に意欲的に取り組む生徒 3 自らの目標を立て、目標達成のための手立てや方法を考え、やりきることができる生徒 4 中学校において、学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組み、本校入学後も継続して取り組む意思のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、4つの科それぞれの特色を生かした専門教育により、商業のスペシャリストとしての人材育成に取り組み、その実現のために以下の教育を行います。 1 未知の状況にも適切に対応できる思考力・判断力・表現力等を教育活動全体で育めるようにするため、基礎学力の定着と主体的で探究的な学びにつながる授業 2 専門知識・技能を活用した実践力を身に付けるために、販売実習や課題研究などを通して、地域と連携した学び、地域と協働した学び 3 ICT機器の活用を推進し、時代の変化や社会の変化に対応する教育 4 生徒の興味・関心のある研究や学習を行うことで、将来社会で活躍するために必要なビジネススキルであるコミュニケーション能力や企画力、創造力を身に付けること
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、ビジネス教育を通して、以下の資質・能力を育成します。 1 豊かな人間性・社会性と、社会の変化に対応できる能力 2 商業に関する専門的知識・技能と問題解決能力を有し、組織や社会において生涯に渡り主体的に行動できること 3 ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付け、他者と協働できること 4 ビジネス教育を通して、知徳体バランスのとれた力を育むとともに、地域の活性化に貢献すること

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	県立高等学校における魅力化・特色化の推進	実践的・体験的な学習の充実。 産業社会を担う職業人としての育成。 専門教育の基盤となる全商検定1級3種目以上合格者60名以上。 会計・情報分野の高度資格取得人数を年間70名以上。
	学校における体系的で継続的な食に関する指導の充実	食育の推進。食育だよりの定期作成・発行(年間3回以上)・バランスの良い献立を考えられる生徒の育成。(85%以上)
	子どもの体力・運動能力、運動習慣等の向上	体力の向上と運動習慣の定着。 運動部加入率男子60%以上・女子40%以上を目指す。
	特別支援教育の推進	個々の生徒の状況に応じた支援内容の充実。 インクルーシブ教育やユニバーサルデザインの視点での学校改善。アンケートを実施し、学校生活がより豊かになったと感じる生徒の割合80%以上。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	超過勤務時間の縮減。分掌間の連携・調整を確実に3ヶ月連続45時間超過する教員数0。
	ICTを活用した研修講座の実施	ICT活用指導力向上研修を年3回実施。 研修会参加率75%以上。 オンデマンドによる講座の案内。
	学校安全に関する教職員の資質向上	防災訓練の充実・危機管理対応研修の実施。 訓練、研修後のアンケートで「防災意識が向上した」と感じる割合を85%以上。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	インターンシップの充実	インターンシップ参加率95%以上。
	地域学校協働活動の充実	学校運営協議会の年3回の実施。 地域イベントやボランティア活動に参加することで、充実感を得られたと感じる生徒の割合80%以上。
	社会教育人材の活躍機会の拡充	販売体験学習「県商マルシェ」の充実。地域と協働した学習を通して、社会の一員としての自覚を育成する。生徒向けアンケートによる達成充実度75%以上。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIMEに関わる学びの満足度を80%以上。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	「いじめ防止対策推進法」、「奈良県いじめ防止基本方針」等に基づき、予防、早期発見・認知、解消に努める。 担任との個別面談を年2回以上実施。アンケート調査により、学校は安心であると感じている生徒の割合85%以上。
	教育相談体制の充実	生徒が相談しやすい体制を築き、生徒の支援や援助を行い、成長を促す。 学校に「相談できる先生がいる」と感じている生徒の割合85%以上。
	人権教育の推進	3年間を通して系統だった人権HRの再構築、各回の人権HRの充実を通して人権教育推進を図る。生徒が人権に対する意識が向上したと感じる生徒の割合85%以上。

奈良県立桜井高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	自由に、その個性に応じて時代感覚をもった学殖豊かな世界人の育成	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本校の使命を理解し、その達成を目指す意欲にあふれている生徒</li> <li>○ 様々なことに興味・関心をもち、主体的に学ぶ姿勢がある生徒</li> <li>○ 人間尊重の精神をもち、自らの人間力を高めようとする熱意のある生徒</li> </ul> <p>これに加え、書芸コースでは次のような生徒を受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本や中国などの東洋の伝統文化である「書」に興味・関心を持ち、入学後は積極的に「書」と向き合い、より深く学びたいという熱意や意欲のある生徒</li> </ul>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、桜井高校でしか行えない「学び方を学び、自分の得意や興味・関心を伸ばす教育」を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎的学力を基盤として、様々なことに興味・関心を深め、グローバルな視野をもちながら粘り強く探究的な学びに取り組むプログラム</li> <li>2 コミュニケーション能力を基盤として、集団としての行動力やリーダーシップを高め、集団や社会への貢献を経験するプログラム</li> <li>3 豊かで健やかな心身を基盤として、多様性を認め合い人間的魅力を磨き、自己実現を目指して挑戦する力を育むプログラム</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、校訓「普く 絶えず 正しく」の精神を涵養し、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総てに対して、常に、正しいと信じることに最善を尽くすことができる。</li> <li>2 創造性豊かな感性と世界的な視野をもって、自ら学び、挑戦し続けることができる。</li> <li>3 自己を大切にし、他者を思いやり、多様性を認め合っとも新しい社会を作り上げる意思をもつ。</li> </ol>

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的学習態度の育成	自分から行動することを心がけ実践する生徒の割合100% 1日平均60分以上自主的な学習をする生徒の割合75%以上
	主体的・対話的で深い学びによる授業の実施	「授業に対して全般的に満足している」と回答する生徒の割合全学年で85%以上
	奈良Time「志学」の充実	「郷土学習について満足している」と回答する生徒の割合75%以上
	読書活動の推進	図書館を利用した生徒の延べ数3,000人以上
	健康教育の充実と望ましい運動習慣の確立	「健康に関する指導が適切」と回答する生徒の割合90%以上 スポーツテストのスコア54ポイント以上の生徒の割合50%以上
	保護者や関係各所と連携して望ましい食習慣の確立	朝食摂取率90%以上 栄養バランスのとれた食生活を心がけている生徒90%以上 規則正しい食習慣を身につけることが大切だと考える生徒90%以上
	特別支援教育の推進	支援を必要とする生徒の情報共有のための生徒支援委員会を月1回実施 ユニバーサルデザインを意識した授業の工夫・改善を行っている教職員100%
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	学校における働き方改革	ICTを活用して校務を効率化し、すべての打合せや会議はペーパーレス 定時退校日を月1回設定 仕事と私生活のバランスが非常によい、良いと回答する教職員70%以上
	教職員の資質向上	各教科の研究授業の実施 年1回以上
	学校安全の推進	安全や事故防止に関する指導が適切に行われていると考える生徒100%
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	アカデミック・インターンシップを含めたインターンシップに参加した生徒数40人以上 「進路行事等で自分の進路に関する情報を得られた」と回答する生徒の割合80%以上
	学校運営協議会の発展的運用	学校・家庭・地域で「育てたい子ども像」や「目指すべき教育のビジョン」の共有ができ、当事者意識が共有できたという委員100%
	社会参加活動の推進	ボランティア活動に参加する生徒の割合85%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	いじめ等の人間関係の悩みを先生やSCIに相談できる生徒の割合90%以上
	不登校対策の推進	悩みを先生に相談できる90%以上
	人権意識の向上	人権意識の向上を目指した、生徒による活動の実施 年10回以上 高校での人権学習を通して今まで差別に気づけなかったことに気づけるようになった生徒90%

奈良県立五條高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解している生徒 2 より発展的な学びを目指し、様々な学びに積極的に取り組む意欲のある生徒 3 資格取得に向けて意欲的に取り組む生徒 4 主体的に考えて行動でき、地域貢献への意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身(知・徳・体)を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成を目指し、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の自己実現に繋がるよう、基礎学力の定着を重視しながら興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 学科、類型の枠を越えて、思考力・判断力・表現力の育成を重視した学校設定科目を開設し、主体的、探究的に学び考える力を培います。 3 教育活動全般を通じて、温もりのあるコミュニケーション能力を育成します。 4 コミュニティ・スクールの趣旨を踏まえ、五條市・五條市教育委員会との連携を積極的に図り、地域や社会に貢献する精神を涵養します。 5 海外姉妹校との連携等により、自己理解と異文化理解等を充実させ、グローバルな視点で物事を判断する力を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 豊かな人間性を基盤に、社会に貢献しようとすることができる。 2 自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に対する強い誇りと愛着をもっている。 3 コミュニケーション力を大切にし、仲間と協働しながら主体的に課題を解決できる。 4 卒業後も文武両道に努め、自ら学び続けることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業が自分に適していて、内容が良く理解できると回答した生徒の割合 85%以上
	学習習慣の確立	毎日家庭学習を行うと回答した生徒の割合 80%以上
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進(総合的な探究の時間「創造」・奈良TIME)	郷土について、深く学ぶことができたという回答した生徒の割合 75%以上
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率 80%以上
	特別支援教育の推進と、障害の有無にかかわらず全ての子どもがともに学ぶ仕組みの構築	・人権ホームルームやその他HR活動等によって、人権に関する意識が向上したと回答した割合 80%以上 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり(板書の字の大きさや行間や色づかい、話し方のスピードや間の取り方)に対する生徒の満足度 80%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	学校における働き方改革の推進	令和6年度後半6ヶ月における全職員の超過勤務時間月あたり平均24時間05分に対して、15%減の20時間44分以下とする。
	教職員の資質向上	個々に応じた研修(校外)受講により習熟度・経験値が上昇したと回答した教員の割合 80%以上
	交通安全教育の推進	原付及び自転車による通学者の交通事故件数 0件
	避難訓練を通じた防災教育の充実	訓練等によって防災意識が向上したと回答した生徒の割合 90%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	学習支援アプリ活用により、主体的な学習やポートフォリオ等の自己点検ができたという回答した生徒の割合 95%以上
	インターンシップの充実	就職希望者、進学希望者のインターンシップへの参加率 就職・進学ともに30%以上
	コミュニティ・スクールとしての地域貢献	本校が取り組んでいる五條市、各種園との連携・交流に参加したり、興味を持ってたと回答した生徒の割合 90%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	望ましい生活習慣の確立	年間を通じた出席率 95%以上
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	年間のいじめ認知件数に対する解消率 90%以上
	教育相談体制の充実	本校の教育相談に対して、相談しやすく親身になって接してくれる体制が整っていると回答した生徒の割合 90%以上
	グローバルマインドの育成	姉妹校との交流や関連行事に対して、積極的に参加したり、興味を持ってたと回答した生徒の割合 95%以上

奈良県立御所実業高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	「ものづくりは人づくり・夢づくり」を基本テーマとし、「ものづくり」を通して喜びや達成感を味わい、総合的な人間力を土台にし、さまざまな分野で活躍できる社会人・職業人の育成	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身につけており、学習に対して前向きな生徒 3 自ら考え、自ら行動できる生徒 4 人間尊重の精神を持ち、社会貢献の意識が高い生徒 5 ものづくりに興味・関心を抱き、専門分野の知識や技能、技術の修得に意欲的な生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では「ものづくり」を通して、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 「資格取得」を目標に、生徒一人一人の学習意欲を喚起し、個に応じた指導により、わかる授業を展開します。 3 実習を通して、職業人として必要な知識や技能を身につけるとともに、人間力を養い、生きる力を育成します。 4 課題研究により、自ら課題を発見し解決する能力と創造力を養い、プレゼンテーション力を育成します。 5 ルールを守ることで規範意識を構築し、社会人としての資質を習得する態度を養います。 6 部活動、特別活動、自主活動を推進し、健やかな心身と人間力を育みます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 ものづくりを通して得た知識や技能、コミュニケーション力を実社会で活用することができる。 2 他者と協力し、協調性をもって物事に取り組む姿勢が身につけている。 3 ものづくりに対し、創造力が豊かで、積極的に貢献し学び続けようとする態度ができています。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を はぐくむ学校教育の推進	健やかな身体の育成、スポーツを通じた 豊かな心身の育成	部活動加入率を70%以上を目指す。 【健康・食生活についてのアンケート】の回答において、体育の授業以外で1日20分以上の運動やスポーツを週に4日以上行う割合70%以上を目指す。 【健康・食生活についてのアンケート】の回答において、朝食摂取率80%以上を目指す。
	基礎学力の定着	【生徒アンケート】の「わかりやすい授業」で肯定的回答90%以上を目指す。
	教育DXの推進	【生徒アンケート】の「ICTを活用した授業の満足度」で肯定的回答90%を目指す。 【生徒アンケート】の「情報モラルに関する理解度」で肯定的回答90%以上を目指す。 教員のICT活用状況80%以上を目指す。
	望ましい読書習慣の確立	【生徒アンケート】の「本や雑誌を週にどのくらい読みますか。」で、週に30分以上読書を行う割合50%以上を目指す。 図書室利用者数延べ1,000人以上、図書貸出冊数300冊以上を目指す。
	特別支援教育の推進	【生徒アンケート】の「先生は自分を理解してくれている」で肯定的回答90%以上を目指す。
	資格検定対策講座への参加の推進	資格検定受験希望者数の増加及び資格検定合格率80%以上を目指す。
	2. 学校における教育の基盤となる教育 環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革の推進
教職員の資質向上		生徒の教員に対する【授業アンケート】で肯定的回答90%以上を目指す。 教育研究所等が主催する研修会等の年2回以上の受講率90%以上を目指す。
教育環境の整備		【生徒アンケート】の「校内の環境がいつも美しく整備されている。」で肯定的回答90%以上を目指す。
学校安全の推進		【生徒アンケート】の「安全や事故防止に関する指導が適切に行われている。」で肯定的回答90%以上を目指す。
キャリア教育の推進		【生徒アンケート】の「進路に関する指導や情報提供が十分に行われている。」で肯定的回答90%以上を目指す。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の 実現に向けた教育の推進	産業界との連携の推進	協力企業との連携事業件数 20件以上実施を目指す。
	インターンシップの充実	生徒のインターンシップ参加率30%以上、企業実習参加率80%以上を目指す。
	社会教育の推進	御所市包括連携による出前授業参加生徒の事後アンケートで、肯定的回答90%以上を目指す。
	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会委員による「県立学校コミュニティ・スクールチェックシート」による運営状況アンケートで肯定的回答80%以上を目指す。
	地域の活性化	地域の伝統行事等に参加した生徒への事後アンケートの「地域や郷土に対して関心が深まった。」で肯定的回答90%以上を目指す。 【生徒アンケート】の「奈良TIMEに関わる学びをとおして、地域への関心が高まった。」で肯定的回答80%以上を目指す。 【生徒アンケート】の「ボランティア活動(募金、献血、その他)に熱心に取り組んでいる。」で肯定的回答80%以上を目指す。
	地域の美化	【生徒アンケート】の「清掃活動や落ちているゴミを拾うなど、校内を美しく保つことを意識している。」で肯定的回答80%以上を目指す。
	人権教育の充実	【生徒アンケート】の「人権や命の大切さについて適切な指導が行われている。」で肯定的回答90%以上を目指す。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	【生徒アンケート】の「クラスがよくまとまっている」、「充実した学校生活を送っている」、「悩みを相談できる友人がいる」の肯定的回答90%以上を目指す。

奈良県立青翔中学校・高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	中高一貫6年間を通した理数教育の推進により、地域に貢献するとともに、科学技術創造立国たる日本の未来を牽引するサイエンスイノベーターを創出します。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	自然科学の分野で社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下のような生徒を求めます。 (1) 科学的な現象を探究しようとする意欲をもち、物事を論理的に粘り強く考えるための土台となる数学が好きな生徒 (2) 将来、科学研究活動を通して社会に役立ちたいと願い、実験・観察や理科に興味・関心をもち、自ら進んで課題の発見や解決に努めようとする生徒 (3) 基本的なコミュニケーション能力を身に付け、仲間と協働できる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	中高一貫6年間を通した理数教育を、以下のように推進します。 (1) 全校体制での探究的な学びの充実 (2) STEAM教育の視点に立った教科等横断的取組 (3) SDGsを活用した地域課題を解決するための自治体・企業等との連携 (4) 中高一貫理数教育の特色を生かした体系的カリキュラムの編成 (5) 高次の研究を実現させるための国内外の大学等との継続的な連携 (6) 異学年集団の学びによる科学的リテラシーの習得
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	サイエンスイノベーターとして必要となる、以下の資質・能力の育成を目指します。 (1) 課題発見・解決・設定に必要な創造的思考力 (2) 科学的根拠に基づいた総合的判断力 (3) 多様な考え方を尊重しチームで協働するコミュニケーション能力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	★特別支援教育の充実	特別支援コーディネーターを中心として作成した、配慮を要する生徒の状況を共有する資料を「活用したことがある」職員の割合が60%以上
	健やかな体の育成	前年度と比較して、各自のスポーツテストの記録が8種目中5種目以上向上した割合が60%以上。中学2年生及び高校2年生で見取る。 (R6年度:中2・52%、高2・48%)
	★地域の課題を発見し、解決する力の養成	★高校1年統合科学で地域課題を1年間学習。学習意識調査「統合科学の授業で、自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしている」の割合が60%以上。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	★教員の働き方改革	教員の業務負荷を低減させる施策を行うことで、ストレスチェックの尺度「仕事の量的負担・コントロール度」をR6全組織平均105以下とする。
	教職員の資質向上	探究的な学びの充実と授業改善を図る教員研修を年2回以上実施し、事後アンケートの項目「新たな学びにつながった」が60%以上。
	防災に関する課題を発見する力の養成	高校2年統合科学で防災教育を1年間学習。学習意識調査「自分の国に解決したい社会課題がある」が学習前後で有意に上昇。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	★インターンシップの充実	中学校職場体験及び高校インターンシップ(教育研究所主催等)への参加で「良かった」という回答が80%以上
	地域と学校の連携・協働活動の充実	御所市内の地域や学校との連携・協働活動において、事後アンケート項目「参加して良かった」が60%以上。
	地域に誇りと愛着をもち、知識と実践力を備え地域社会に貢献するリーダーの育成	高校1年統合科学で地域課題を1年間学習。学習意識調査「統合科学は、科学・技術や経済・社会の発展に貢献している」が学習前後で有意に上昇。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	教育相談体制の充実	SC等に繰り返し教育相談を依頼・実施する生徒の割合が50%以上。
	人権教育の推進	人権HRを年間2回実施および、人権講演会を年1回実施する。生徒アンケート項目「人権意識が変わった」において、60%以上。

奈良県立生駒高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「知・徳・体」が調和し自立した社会人の育成を目指して、豊かな人間性を身に付け、高い志に基づき自ら行動する生徒を育てます。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒の入学を待っています。 1 本校のスクール・ミッションを理解し、その達成に前向きに取り組む生徒 2 中学校の基本的な学力が身に付いており、新たな学習に対しても意欲的に取り組む生徒 3 自ら考え、行動する生徒 4 豊かな人間性を身に付け、温もりあふれる人格を養おうとする生徒 5 人間尊重の精神を持ち、進んで社会貢献しようとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成を実現するために以下の方針に基づいた教育を行います。 1 心豊かな人間の育成      2 基礎・基本の重視と個性を生かす教育の充実 3 自己教育力の育成      4 文化と伝統の尊重と国際理解の推進 具体的には次の点に留意します。 ○魅力ある学校づくり ・学校の実情と生徒の特性を考慮し、創意工夫した教育課程を編成します。 ○自ら学ぶ力を育てる学習指導 ・基礎・基本の確実な定着と、一人一人の個性を生かす教育を推進します。 ・主体的な学習を推奨し、将来にわたり自己実現に向けて自ら学び続ける態度を育成します。 ○豊かな心を育てる指導 ・自らの行動を見つめさせ、基本的な生活習慣の確立に向け指導します。 ・国際社会に生きる人間としての自覚を育成します。 ・郷土の伝統、文化、自然等に関する理解を高め、尊重する態度を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・態度・能力を身に付けた生徒を育成します。 1 幅広い知識と教養に基づく、真理を求める態度と心豊かな人間性 2 知識や教養と、仕事や生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度 3 主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度 4 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度 5 自国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業アンケートにおいて、「授業に満足している」生徒が90%以上 生徒アンケートにおいて、学校の授業以外に平日「ほとんど学習しない」生徒が15%以下
	体力・運動能力、運動習慣等の向上	スポーツテストの結果(Tスコア) 男子50以上、女子47以上
	特別支援教育の推進と多様な生徒への支援	生徒アンケートにおいて、生徒の話をよく聞き、相談ののってくれる先生が多いと回答する生徒が85%以上
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	生徒アンケート(1年生)において奈良TIMEの学習により、「郷土・奈良の伝統文化、自然等に関する理解や興味が深まった」生徒が90%以上
	ICTを活用した教育活動の充実	ICTを活用した学習課題の設定を推進し、生徒アンケートにおいて「ICTの活用により学習理解の内容が深まる」生徒が90%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	ワークライフバランスの改善と働き方改革の推進	時間外勤務の1ヶ月累計の平均が45時間超の教職員の割合8%以下
	ICTの活用等による教員の研修機会の提供	WEB研修講座等の情報を定期的に教職員に情報共有 生徒アンケートにおいて「ICTの活用により学習理解の内容が深まる」生徒が90%以上(再掲)
	清掃活動の充実	生徒アンケートにおいて清掃活動に「積極的に取り組む」「真面目に取り組む」と回答する生徒が80%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の充実	生徒アンケートにおいて「進路の手引き」は自分の進路決定や情報収集に役立つと回答する生徒が80%以上
	インターンシップの充実	在学中にインターンシップ及び大学等でのアカデミック・インターンシップへの参加した3年生の割合30%以上
	地域との連携の充実	学校運営協議会等を生かした地域連携による学習の推進 防災学習の機会を新設し、防災学習に対する生徒の満足度80%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	「多様性」を尊重し、共に生きていくための意思と実践力の育成	生徒アンケートにおいて「いじめ」や「差別」に気づいたとき、指摘したり、問題意識を持ると回答する生徒が90%以上
	教育相談体制の充実	生徒アンケートにおいて教育相談の取組と有効性に対し、肯定的評価をする生徒が80%以上
	グローバルマインドの育成	国際理解や国際分野の活動につながる進路を希望する生徒320名以上(生徒の3分の1以上)

奈良県立奈良北高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		科学技術の振興や社会の発展に貢献できる人材を創出します
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	自然科学分野やグローバルな社会で貢献できる人材の育成を目指し、以下のような生徒を求めます 1 本校のスクールミッションや教育方針を理解している生徒 2 自他を大切にし、地域や国際社会の発展に貢献しようとする生徒 3 高い志を持ち、目標を掲げて学習に取り組む生徒 4 探究的な活動に意欲的に取り組み、主体的に課題を発見し解決に努めようとする生徒 5 数学や自然科学に興味・関心をもち、科学技術の振興に貢献しようとする生徒(数理情報科)
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	文系・理系の枠を超えた科学的探究力の育成を目指し、以下を推進します 1 スーパーサイエンス(SS)探究をベースとした学校全体での科学的で探究的な学びの充実 2 STEAM教育の視点に立った教科等横断的取組の実践 3 新しい価値を創造する「地域連携プログラム」の開発 4 世界を視野に入れたグローバル人材を育成するための国際交流の充実
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	自然科学分野やグローバルな社会で貢献できる人材として必要な、以下の資質・能力の育成を目指します 1 科学的な探究力 2 科学的思考力(論理的思考力) 3 総合的な判断力・表現力 4 新しい価値を創造する力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	探究的な学びの推進による、主体性、創造性の醸成	生徒の主体性、創造性が身についたという回答が、ともに80%以上
	探究活動やSSH事業による科学的な探究力の育成	リテラシーとコンピテンシーの上昇した生徒が70%以上
	キャリア教育の推進	筆記試験だけに頼らない総合型選抜に出願する生徒の割合を20%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	デジタル学習基盤の効果的な活用	教育の情報化アンケートにおける各項目について、できる・ややできると回答する教員の割合が平均95%以上
	教員の働き方改革の推進	働き方改革に繋がる業務の見直しを、年に2つ以上進め、マニュアル化を図る
	学校支援スタッフの活用促進	活用の実績が令和7年度から20%増
3. 地域や家庭で学びを支え合う社会の実現に向けた教育の推進	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	SS探究やLAS探究における学びの満足度70%以上
	インターンシップの充実と大学や企業との連携	社会への参画を見据えた大学や企業等での研修・共同研究等への参加者数が、令和7年度から20%増
	地域の課題を発見し、解決する能力の醸成	生徒の課題発見力、課題解決力が身についたという回答がともに80%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	教育相談体制の充実	いじめや個別事案の相談がしやすいと回答する生徒が90%以上
	人権教育の推進	体系的な指導計画やプログラムに基づくLHRや行事を各学年2回実施
	ユニバーサルデザインを意識した教育活動	発行する文書のUDフォント使用率が90%以上

奈良県立香芝高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命 (スクール・ミッション)	これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 コミュニケーション能力や情報活用能力を備え、「生きる力」を身に付けた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、主体的に学ぶ意欲の高い生徒 3 明るく、素直で、チャレンジ精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身を育成し、激動する社会に対応できる「生きる力」を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するため、多様な科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 主体的で個別最適な学びと協働的な深い学びを実現するために、ICTを効果的に活用した授業を展開します。 3 情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育むため、言語活動を重視した探究型の学習を行います。 4 主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養するため、学校行事や課題活動、ボランティア活動などを計画的に組み入れます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 個人の尊厳を重んじ、礼節を学び、常に和敬の心をもって自他の向上に努めることができる。(和敬) 2 学業に励み、真理を希求し、勤労と責任を重んじ、日々たゆまず努力し、新たな文化の創造に努めることができる。(創造) 3 常に心身の錬磨に励み、高い知性と健全な身体を培い、強固な意志とたくましい実践力を身に付けている。(錬磨)

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	読書活動の推進	主体的に読書を行う生徒の割合30%以上、月に1冊以上の本を読む生徒の割合60%以上
	体力・運動能力の向上	新体力テストTスコアの校内平均値が全国平均値以上
	特別支援教育の推進	教育相談・特別支援教育委員会を年度4回以上実施するとともに、「人権を確かめ合うアンケート」の設問「自分はちがいを認めることができるか」に対する肯定的回答の割合が95%以上
	新しい時代に求められる資質・能力の育成	生徒アンケートの設問「他者の意見や考え方に触れ、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる授業だった」に対する回答の平均値が、3.3以上(4点満点)
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	学校における働き方改革の推進	教職員の年休取得が平均12日以上
	ICTを活用した研修会の実施及び参加促進	ICTを活用した研修会の実施及び参加が平均2回以上であるとともに、教員アンケートの設問「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができた」に対する肯定的回答の割合が80%以上
	学校安全の推進	学校安全に関する行事を年度5回以上実施し、生徒アンケートの設問「安全教育に関する指導(交通安全に関する指導・SNSの利用法などの生活安全に関する指導・地震や火災から身を守るための災害安全に関する指導)が適切に行われている」に対する肯定的回答の割合が95%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	インターンシップの充実	インターンシップまたはアカデミックインターンシップの参加者が年度50人以上
	地元企業、学校、自治体との協働事業の実施	協働事業を年度10回以上実施し、生徒アンケートの設問「自分には人を幸せにしたり、社会をよりよくなりました」に対する肯定的回答の割合が80%以上
	郷土の伝統、文化等に関する学習の推進	生徒の奈良TIMEに関わる学びの満足度(%)が95%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思う」に対する肯定的回答の割合が90%以上
	教育相談体制の充実	生徒アンケートの設問「生徒の悩みや相談に応じてくれる学校だと思う」に対する肯定的回答の割合が90%以上
	人権教育の推進	人権学習ホームルームの事前職員研修及び外部講師による人権講演会等を年度計4回以上実施し、保護者アンケートの設問項目「香芝高校では、人権に関する教育が適切に行われている」に対する肯定的回答の割合が90%以上

奈良県立宇陀高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		いのちを大切にすることと未来を切り拓く力を育み、自信と誇りをもって地域に貢献する生徒の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を受け入れます。 1 本校の教育方針を理解する生徒。 2 【普通科】 ICTの活用やグループワークなどにより学びを深め、主体的に自らのキャリアを形成できる力を身に付け、自分自身の進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒。 3 【情報科学科】 プログラミングを楽しみながら学ぶことから、実社会の問題を発見・解決する力や協働して取り組む態度を身に付け、自分自身の進路実現に向けて意欲的に取り組む生徒。 4 【こども・福祉科】 介護福祉、保育・幼児教育、医療・リハビリテーション等に興味・関心があり、地域の一員として社会に貢献しようとする熱意と、他者への思いやりの心を持ち、仲間とともに協力して学ぶ意欲のある生徒。 5 【専攻科】 介護福祉士の国家資格を取得し、専攻科修了後、奈良県内の社会福祉施設等で介護の業務に従事する意思を有している者。 豊岡短期大学通信教育部とのダブルスクールにより、幼稚園教諭・保育士の資格を取得し、専攻科修了後、奈良県内の企業や施設で社会福祉に貢献する意思を有している者。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上、基礎学力の定着と応用力の養成、豊かな心の涵養、自己実現への主体的な態度の育成、及び地域社会に貢献する意欲と行動力の育成のために、以下の教育を行います。 1 授業、HR活動、学校行事、部活動等の課外活動、ボランティア活動等、学校生活全般を通じて、規範意識、人を思いやる姿勢、互いに成長し合える人間関係、及びコミュニケーションを回って協働する力を養います。 2 基礎的・基本的な知識・技能の習得と応用力の養成により、着実に学力を向上させます。 3 キャリア教育を充実させ、ICTの活用やグループ活動を取り入れて、「主体的・対話的で深い学び」を展開します。 4 計画的・個別的なサポートにより、国家資格取得と検定合格に導きます。 5 施設実習、保・幼・こ・小・中を含む学校周辺地域との交流、地域行事へのボランティア参加により、学校での学びを地域社会の問題発見や解決に活用する力を養い、地域社会に貢献する意欲と行動力を育成します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学校で身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を、上級学校での学びに繋げたり、地域社会の問題発見や解決に活用しようとするができる。 2 在学中に取得した資格、合格した検定を基に、就職先、進学先においてより専門的技術・知識を習得するために主体的に学び続けることができる。 3 社会の一員として、よりよき社会の実現のために、協働を推進することができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	新しい時代に求められる資質・能力の育成	・すべての学科において、それぞれの特色を活かした教育を推進し、90%以上の生徒が「学んだ知識・技能を持って進学・就職することを目指す」。 ・各教科において、基礎学力の定着を目指し、アンケートで学力が向上したと答える生徒が70%以上になることを目指す。
	教育DXの推進	個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現に向け、授業支援サービスの活用をより充実させる。80%以上の科目において、課題の提出や小テストでの活用を目指す。
	豊かな心の育成	自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動することができる生徒の育成のため、学校行事、部活動、ボランティア活動等への積極的な参加を促す。そして、ボランティア活動による単位認定を希望し取得する生徒がボランティア参加生徒の50%以上となることを目指す。
	読書活動の推進	読書を通じて生徒の読解力、想像力、思考力、表現力を育て、それらが自己実現の基礎となるようにする。週1回の朝の読書タイム(朝読)に加え、朝読を活用した年間2回の「朝読イベント」、年間1回放課後に「図書館で読書に親しむ会」を開催する。これらを通じて、「読書への関心が増した」生徒が70%以上になることを目指す。
	健やかな身体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	・運動やスポーツに対する生徒の意欲を向上させ、新体力テストにおける生徒の目標達成率80%以上になることを目指す。 ・生徒の朝食摂食率90%以上を達成し、維持する。 ・部活動加入率30%以上を達成し、維持する。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	学校教育の核となる生徒指導の充実を念頭に置きながら、教職員の勤務時間の有効的な縮減に努め、健康管理医による面接指導対象者をゼロにする。学校満足度調査における教員の肯定的回答が80%以上になることを目指す。
	教職員の資質向上	研修講座に参加し職務に活かす教職員の割合が90%以上になることを目指す。また、教員間の授業公開を年間3回以上行い、授業参観を通じて自主研修の充実を目指す。
	教育環境の整備	【ICT環境整備】 校務DX、教育DXのより一層の推進のために、教員のICT活用スキル向上のための校内自主研修の機会を年1回設け、その効果による校務充実の満足度が70%以上になることを目指す。 【カリキュラム改革】 生徒の自発的なボランティア活動を単位認定することで、生徒が「自己肯定感」「自己有用感」を高め、意欲を持って学校生活や学習活動に取り組むこと、さらに進路実現の一助となることを目指す。
	学校安全の推進	地域の交通安全や防犯に係る研修、また、地域の防災マップを活用した実践的な避難訓練をそれぞれ年間1回以上行うことで、自他の生命の尊重、安全な地域作りへの意識の向上を図り、80%以上の教職員・生徒が「安全・防災への意識を向上させることを目指す」。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の充実(インターンシップの充実)	【普通科、情報科学科、こども・福祉科】 ・「SSシート」を毎日、出席生徒全員に記入させる。 ・インターンシップに参加する生徒が70%以上になることを目指す。 ・外部講師による進路行事(職業ガイダンス・講演会等)を各学年とも年間3回以上実施する。 【専攻科】 施設実習への参加率が90%以上となることを目指す。また、特別支援学校での有償インターンシップを実施する。
	学校・家庭・地域の連携・協働に基づく社会教育の推進	・地域資源を生かした学習を通じて、地域の歴史、伝統、文化に触れて学ぶ機会を創出する。高校生で年間20時間以上、専攻科で10時間以上の学習機会を設ける。学習を通じて「地域への愛着が増した」生徒が70%以上になることを目指す。 ・こども・福祉科においては、地域行事でのボランティア活動の参加時間数が年間20時間以上となることを目指す。
	本校教育の魅力発信の推進	ホームページでの情報発信、公式インスタグラムでのタイムリーな活動紹介を推進して本校の魅力を広く周知できるようにし、年間のホームページへのアクセス数が前年度を上回ることを目指す。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	人権教育の推進	人権教育の日常化を目指し、保護者向け「教育相談だより」、教員向け「ニュースレター」をそれぞれ月1回発行し、本校の取組の周知、共通理解を図る。スクールカウンセリングを受けた生徒の中で、カウンセリングを受けた結果、「学校生活に前向きになった」生徒の割合が80%以上になることを目指す。
	いじめ防止対策の推進	いじめアンケートや人権HRの実施を通して、人権意識や自他の生命を尊重する態度を養う。また、互いの違いを認め合い尊重し合える集団づくりを通して、「いじめに気づき、いじめを見逃さない心を持つようになった」生徒が90%以上となることを目指す。
	不登校対策、特別支援教育の推進	年間10回以上のケース会議、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの年間3回の情報交換を全ての生徒がやりがいをもち学校生活に取り組める指導に生かし、生徒の学校生活満足度が80%以上になることを目指す。

奈良県立西和清陵高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	生涯にわたり学び続け、自己の成長を目標とし、よりよい社会の形成に主体的に寄与する人材を育成する。	
教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1. 生涯にわたり学び続け、自己の成長を目標とする生徒 2. よりよい社会の形成に主体的に寄与する意欲を持つ生徒 3. 主体的に学び、自ら考え行動できる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	本校は、校訓「清新・敬愛・力行」の精神を基調とし、生涯にわたり学び続け、自己の成長を目標とし、よりよい社会の形成に主体的に寄与する人材を育成することを教育目標としています。その実現のため、以下の教育活動を展開します。 1. 社会人として必要な知識・技能の定着と主体的に学ぶ態度を育成：各教科の基礎的な知識・技能の習得を促し、生涯にわたり学び続けるための基盤を構築します。生徒一人ひとりの学習状況を把握し、学習支援の充実にも努めます。 2. 探究的な学習活動による課題発見・解決能力と自己肯定感を育成：「総合的な探究の時間」等を中心に、探究的な学習活動を展開します。生徒が自ら課題を発見し、解決策を探究する過程を通して、思考力、判断力、表現力を育成するとともに、主体的に学ぶ力を育みます。 3. 多様な学びの場の提供と進路実現を支援：2年次からのコース選択に加え、選択科目や各種検定受験など、生徒の興味関心や進路希望に応じた多様な学びの場を提供します。また、ガイダンス、インターンシップ、大学・専門学校、地域との連携を通して、生徒の主体的な進路選択を支援します。 4. 表現力と論理的思考力を育成：授業や学校行事など、様々な場面で自分の考えや意見を効果的に伝える機会を設けます。話し合い、プレゼンテーションなどを実施することで、論理的思考力と表現力を育成し、コミュニケーション能力を高めます。 5. 「人生100年時代」を生き抜くための知識・スキルの習得と自己理解および他者理解を促進：変化の激しい社会を生き抜くために必要な知識やスキルを、教科横断的な学習活動を通して習得します。また、多様な価値観を理解し、協働性を育むために、自己理解と他者理解を深める活動を取り入れます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グジュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力を有する人材の育成を目指します。 1. 自分の考えを正確に伝える力および他者の考えを正確に聞き取る力を身につけ、多様な人々と協働し、課題解決に向け主体的に行動し、学び続ける人材。 2. 自分を大切に、他者を尊重して行動する。確かな人権意識を有し、よりよい社会の形成に貢献する人材。 3. 自己のキャリア形成を常に意識し、西和清陵高等学校での学びを礎に「人生100年時代」を通じ、社会生活に必要な「知識・技能」の獲得に努める人材。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはくむ学校教育の推進	基礎・基本的な学力と、基本的生活習慣を身につけさせる。	①「授業を大切に」生徒を育成し、希望の進路を自分の手で切り拓くことのできる力を身につけさせる。 ②出席率95%以上の生徒集団を育成する。 ③朝食摂取率80%以上を目指す。 ④生徒アンケートで「本校での学習活動を通じて基礎・基本を大切に学習習慣が身についた」「本校での学校生活を通じて基本的生活習慣が身についた」の質問への肯定的回答が90%を超えることを目標とする。
	自分たちで意思決定する機会や、身近な課題を自分たちで解決する機会を適切に設ける。	①あらゆる教育活動に協働的探究活動を導入し、自己の意見を表現したり、他者の意見を尊重する機会を設ける。生徒アンケートで「自分たちで意思決定する機会や身近な課題を自分たちで解決する機会があった」の質問への肯定的回答100%を目標とする。 ②主体的に部活動に取り組む生徒を育成する。部活動参加率70%以上と、部活動に参加する生徒の満足度100%達成を目標とする。
	個別の教育支援計画や個別の指導計画を有機的に活用する。また、その充実に寄与する研修会を開催する。	①「個別の支援計画」は生徒の実態に合わせ適宜見直しを行い、個々の生徒への合理的支援の充実に努める。 ②支援を要する生徒や配慮が必要な生徒の情報を共有し、職員研修等で個別の支援を検討し、より適切な支援へとつなげる。 ③以上①②の職員研修に教職員全員が参加すること、研修満足度90%以上を目標とする。加えて、研修の成果が授業に還元されているかどうかを「生徒アンケート」で問い「生徒の授業満足度90%以上」を目標とする。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教職員が自己の目標達成に向けて、生き生きと働き、確かな達成感を味わうことができる職場環境を構築する。加えて、「生涯にわたり学び続ける姿勢」を教職員自らが体現するため、専門性や個性の伸長を図るための研修体系の整備をすすめ参加を促進する。	①教職員の年休・振休取得が円滑に進むよう、労働環境の検証と整備を推進する。 ②校務分掌等の適材適所の配当を推進する。教員アンケートでの職場満足度90%以上を目指す。ストレスチェックにおける「同僚性」に関する満足度向上を目指す。 ③校内研修の充実を図る。また、自己研修実施率100%と、満足度80%以上を目指す。
	施設の老朽化が進んでいる中、早期に改善が必要な設備改修等に関する課題解決にむけ計画的に取り組み、教育環境の整備を図る。	①トイレ「洋式化」「乾式化」整備について、R7年度設計業務完了、R8年度設置を目指す。 ②体育館の「空調設備の整備」について、R8年度設計業務完了、R9年度設置を目指す。 ③「照明設備改修事業(LED化)」について、R8年度改修を目指す。 ④「体育館の屋根雨漏り」について、R7年度予算請求、R8年度設計業務完了し、R9年度改修を目指す。
	安全で安心・快適な教育環境を整備し、生徒の規範意識の育成と向上をめざす。	①安全で快適な教育環境の整備に努め、危険箇所の修繕や改善を図る。 ②ゴミの分別、特に紙/パックやペットボトルの分別廃棄について、生徒への周知徹底と注意喚起を行う。生徒アンケートにおいて「美化意識が高まった」と回答する生徒が90%以上を目標とする。 ③設備を正しく利用できるよう、生徒の規範意識の醸成に努める。生徒アンケートにおいて「安全に対する意識が高まった」と回答する生徒が90%以上となることを目指す。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	社会的・職業的自立に向け基盤となる能力や態度を育てるため、インターンシップ等体験活動への参加を促し、職業教育の充実を図る。	①事業所・大学・専門学校と連携したインターンシップおよびアカデミックインターンシップへの参加率50%以上を目指す。参加した生徒の満足度90%以上を目標とする。 ②外部講師の積極的な活用ならびに促進講座、職場見学等、自己理解の一助となる機会を積極的に創出する。参加した生徒の満足度90%以上を目標とする。 ③キャリア形成に関するガイダンスや講演会ならびに個人面談の充実を図る。生徒満足度90%以上を目標とする。
	育友会活動ならびに学校運営協議会のさらなる活性化を図る。	①育友会本部役員との連携を密にし「本校生徒の健全育成」という目標達成について協議し活動の活性化を図る。保護者アンケートでの満足度80%以上を目指す。 ②原則年3回、対面にて「学校運営協議会」を開催し、本校の教育活動発展に寄与するご意見を頂戴し学校運営に役立てる。運営については、「県立学校コミュニティスクールチェックシート」を活用し「自立性」「対等性」「持続性」「熟慮度」「実行性」「共有性」の全てがバランス良く機能するよう検証しつつ活動の活性化に努める。特に「熟慮度」「実行性」について80%以上を目標とする。
	地域学校協働活動のさらなる充実を図る。	学校の施設を開放し、生徒会運営による地域に貢献する協働活動(地域住民対象)を積極的に展開する。地域協働活動への生徒満足度90%以上、参加者満足度90%以上を目指す。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底を図る。	①日常の「生徒との対話」を丁寧に重ね、「いじめに関するアンケート」等を通じ生徒理解に努め、いじめの未然防止・早期発見・迅速対応の体制を全教職員で共有・推進し、いじめの重大事案ゼロを維持する。 ②生徒アンケートでの「教員の生徒支援」への満足度90%以上を目標とする。
	教育相談体制の充実を図る。	①誰一人取り残されない学びの保障に向け、情報を共有しながら、必要な生徒のスクールカウンセリング活用率100%を目指す。 ②思春期の子育てに心を痛める保護者支援を積極的に進める。その保護者のスクールカウンセリング活用率100%を目指す。
	「人権教育推進プラン」に沿った人権教育を推進する。	①すべての教育活動を通じ、人権問題への理解を深めることで、一人一人が大切にされる居場所作り貢献する人材を育成する。 ②多様性を尊重する教育を推進する。多様な価値観や考え方があることを受け止め、尊重できる生徒を育成する。以上2点について、生徒アンケートで「人権意識が高まった」と回答する生徒90%以上を目指す。
	教職員研修の機会充実を図る。	教職員が常に自己の人権意識を検証し続け、多様な生徒に柔軟に対応する姿勢を醸成する。それにより「安全で安心して登校できる」学びの場の構築を続ける。以上のために必要な教職員研修への参加率100%ならびに満足度80%以上を目指す。

奈良県立法隆寺国際高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		県立高等学校で最初のユネスコスクールとして、自ら学び、考え、判断し、実践できる次代の担い手となり、社会に貢献できる人間の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 中学校で修得した学習内容を元に、意欲をもって学ぼうとする生徒 2 地元での活動とおして実力をつけ、新たな分野へ挑戦しようとする生徒 3 将来を見据え、社会との関わりの中で自らの夢や目標を考えられる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、以下の方針に基づいて、教育課程を編成し、教育活動を実施します。 ○編成の基本方針 1 すべての教育活動における「基礎・基本」の徹底を図り、進路実現に必要な「学力」と、社会生活を営む上で必要な「人間力」を身に付け、「自分の力で生きる力、社会を支える力」をもった生徒の育成を行います。 2 「基礎・基本」の徹底のために、各教科・科目の「ねらい」を明確化し、習得すべき基礎・基本事項を明らかにして、「学力」の向上を図ります。 3 各教科・科目の連携を図り、組織的・系統的な指導を行うとともに、学習内容や教材の精選に努め、指導方法の工夫を絶えず行い、効果的な学習指導を展開します。 4 学習環境を整備し、学業規律の確立に努めるとともに、計画的・継続的な学習習慣が身に付くように生活面の指導充実を図ります。  ○実施に関する方針 1 すべての学科において、ICTを活用した学習の充実に努め、生徒の個性に適した学習指導の展開を図ります。 2 普通科においては、第2学年から生徒の進路希望に応じ、文型・理型の2類型と選択科目を設定します。 3 歴史文化科では、「教育課程特例校」として体験学習や臨地学習も取り入れた特色ある専門科目を設定します。 4 総合英語科では、異文化理解を深め、世界に情報発信できる語学力の向上を目指す特色ある専門科目を設定します。 5 各学科の特色を生かし、県立高校で最初のユネスコスクールとしての取組を進めます。 6 学校行事や課外活動、ボランティア活動などを通して、主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 学びの楽しみや学びの意義を見つけ、自ら生涯にわたって発展的に学びつづける力。 2 自他を敬愛し、未知なるものにチャレンジする力。 3 自分の進路や夢を実現し、社会に貢献する力。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	情報活用力と表現力の育成	ICTを使った情報活用力と表現力が身に付いたと感じた生徒の割合が80%以上
	運動習慣の確立促進を通じた体力の向上	新体力テストにおけるA判定生徒の割合が10%以上
	特別支援教育の推進	中学から支援の情報が引き継がれた生徒に対し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成・活用し、きめ細やかに指導できた生徒の割合が100%
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度90%以上
	キャリア教育の充実と職業観の育成	3年次、自分の将来の働いている姿を思い描ける生徒の割合80%以上
	教員の健康及び福祉の確保を図る働き方改革の推進	教員自身の業務適正化の推進、保護者等による理解促進を図り、時間外勤務時間の平均が月45時間を超える教員を全教員の5%以下にする。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	コミュニティスクールとしての活動の推進	地域との連携活動(清掃活動等)に参加する生徒の割合が70%以上
	グローバルマインドの育成と外国語教育の推進	異なる文化的背景をもつ仲間と情報交換し、課題解決に向けて協働できる生徒の割合75%以上
	郷土の伝統・文化・歴史等に関する学習の推進	郷土の伝統・文化・歴史等に関する学習に満足している生徒の割合60%以上
	インターンシップの利活用の推進	インターンシップ(アカデミックインターンシップ等を含む)参加生徒の割合70%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	「奈良県いじめ防止基本方針」に基づく取組の徹底	早期発見・早期対応ができるように、いじめについて相談できる人がいる割合100%
	教育相談と支援体制の充実	欠席の多い生徒(20日/学期)が、医療機関又はSCのカウンセリングを受ける割合100%
	多様な背景をもつ生徒の学び支援の充実	外国籍(家族滞在)生徒の、3年次日本語能力試験(JLPT)N2取得率100%

奈良県立磯城野高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	衣食住について専門的に学び「生きる力」を培い、農業系・家庭系の未来のスペシャリストを育成します。 (具体像) 1 生徒が自己実現、進路実現できる力を育成する。 2 生徒の専門分野の知識・技能を伸張させる。 3 奈良県の農業科教育、家庭科教育の中核として、その実践・成果を発信していく。	
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	磯城野高校は「実践型教育」により農業系・家庭系のスペシャリストを育てる学校です。 本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 夢や目標を持ちそれに向かって努力できる生徒 2 粘り強く物事に取り組み決して諦めない生徒 3 新しいものに積極的に取り組む生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	【農業系学科】 1 学科の特色を生かし、専門性に沿った進路に対応するためにコース制をとり、学校設定科目の導入や、学科間連携による選択科目を設定します。 2 各専門分野における資格取得・検定合格につながる知識・技能を習得させます。 3 学校農業クラブ関係の各種発表会・競技会参加に対応するために、実習とプロジェクト学習とを有機的に結びつける工夫を行います。 4 模擬株式会社の運営を通して、生徒が自ら企画し、実践する応用的・発展的な力を養成します。 5 学校外のスペシャリスト(大学講師など)の授業を導入し、より実践的な知識・技能を習得させます。  【家庭系学科】 1 学科の特色を生かし、幅広い専門性を身に付けるため、特色に応じた学校設定科目を導入します。 2 フードデザイン科は厚生労働省の認可施設(認可基準を満たす施設)になっており、調理師免許取得・製菓衛生師受験資格取得につながる知識・技能を習得させます。 3 ファッションクリエイティブ科はデザインと縫製を中心に学習し、ファッションを表現する知識と技術を養成します。 4 ヒューマンライフ科は学校での学習だけでなく、高齢者施設や幼稚園での実習を行い、実践力を養成します。 5 学校外のスペシャリスト(大学講師など)の授業を導入し、より実践的な知識・技能を習得させます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	1 専門的知識・技術を獲得し、スペシャリストに求められる創造的な能力と実践的な態度 2 自らの将来を切り開いていく態度及び社会で自立できるための力 3 生徒が活躍できるプロジェクトを設定し、成就感や達成感を体得することによる、自己肯定感の醸成 4 生徒会活動・部活動並びに地域との交流の積極的な推進による、コミュニケーション能力の向上

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を高める学校教育の推進	健康教育の充実	朝食を毎日食べる生徒を70%以上にする。
	魅力ある学校づくり	生徒・保護者対象のアンケート項目「本校に入学して良かった」で「そう思う」と強く肯定する回答を95%以上にする。
	生徒の情報活用能力の育成	情報活用能力の到達度アンケートを実施し、肯定的な回答を90%以上にする。
	特別支援教育の充実	支援を必要とする生徒の情報を月一回更新する機会を設け、常に最新情報を共有できるようにする。
	読書活動の充実	朝の一斉読書活動期間に関する取り組みにおける肯定的な回答を80%以上にする。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIMEに関する学びの満足度を90%以上にする。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教職員の資質向上	年度内に2回の学習指導研究月間を設定し、一人10回以上の授業見学を行う。年度末の自己申告達成度で、学習指導に関する項目の達成度を「A」(上回っている)の割合を80%以上にする。 教育研究所等が実施する研修講座に全教員が年間5回以上参加する。
	働き方改革	毎月2回の定時退校日を設定する。 ストレスチェックにおいて職場におけるストレス値の平均を80以下にする。
	安全・安心な教育環境の整備	大掃除と校内施設設備安全点検を毎月1回実施し、生徒や教職員の安全な環境づくりの意識の向上を図る。年に2回アンケートを実施し、肯定的な回答を90%以上にする。

3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	各種関係諸機関と連携し、すべての生徒が得心できる進路実現を目指す。達成度評価アンケートを実施し、90%以上の満足度を獲得する。
	地域との連携・協働	地域学校協働活動に全生徒の60%以上が参画し、その成果を地域に発信する。
	インターンシップの充実	仕事を深く理解するため、企業と連携し生徒の60%以上がインターンシップを体験できるようにする。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ・不登校への対策	生徒対象のアンケート項目「本校の先生方は、いじめなどのない楽しい学校づくりに努めていると思いますか」で肯定的回答90%以上にする。
	人権教育の推進	保護者対象のアンケート項目「生徒に人権を尊重する態度を身に付けさせようとしていると思いますか」で肯定的回答を90%以上にする。

奈良県立高取国際高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		地域から学び、地元や国内のみならず、世界で活躍できる人材の育成
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や学力が身に付いており、夢に向かって一生懸命に努力する生徒 2 旺盛な知的好奇心と、主体的に行動する姿勢を併せ持つ生徒 3 人権尊重の精神を持ち、人や自然との共生意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の進路実現を図るために必要な科目選択が可能なカリキュラムを編成します。 2 実社会を生き抜く強い心と人を大切にすあたたかい心を育みます。 3 規律ある学校生活を通して、基本的な生活習慣と自律的態度を身に付けた生徒を育成します。 4 様々な文化を理解する力や、幅広い視野と豊かな人権感覚、他者尊重と社会貢献の精神を涵養します。 5 地域から学び、生徒自らが課題を発見し解決する意欲や能力を育むため、探究的な学びを積極的に取り入れます。 6 学校行事や課外活動、進路対策講座やガイダンス等を通して視野を広げ、進路を主体的に実現する力を育てます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と協働するために必要な資質・能力を備え、より良い社会を形成しようとする事ができる。 2 Society5.0の中で、これからも一層変わり続ける世界に対応するために、自ら学び続けることができる。 3 生涯にわたって自らの健康・安全を維持し、自身のキャリア実現を通して地域社会や国際社会で活躍できる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	新しい時代に求められる資質・能力の育成	生徒アンケート「学ぶ意欲がわく授業か」、「話し合いや発表等、生徒による活動を多く取り入れている」の項目で肯定的な意見が90%以上。
	教育DXの推進	職員アンケートの項目「校務改善にICTを積極的に活用しようとしている」において「活用している」という回答が80%以上。
	豊かな心の育成	生徒アンケート「奈良TIME(探究なら)」に関わる学びの満足度が90%以上。
	健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	新体力テストの生徒の得点が平均55点以上。
	特別支援教育の推進	ユニバーサルデザインの観点から分かりやすい授業を組み立てて実践していると答えた教員の割合が80%以上。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革	学校閉庁日の設定 4日以上 定時退庁日の設定 月1回 平均年休取得日数 12日/1年 超過勤務による産業医との面談者数0
	教職員の資質向上	校内外を問わず研修に5回以上参加した教職員の割合が90%以上。
	学校安全の推進	生徒アンケートで「日常生活の様々な場面において安全な行動の仕方を理解している」、「安全な歩行、自転車、原動機付き自転車等の利用ができる」、「災害発生時における危険について理解し、行動がとれる」と回答する生徒の割合が90%以上。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	地域との協働事業の充実	飛鳥駅前活性化会議開催及び地域主催の行事活動に参加した生徒の満足度が90%以上。
	国際交流に関する地域並びに協定大学との協働事業拡充	地域住民を本校に招いての交流行事だけでなく、本校生や本校に留学中の留学生が地域に向向いての交流行事等に参加した生徒の満足度が80%以上。
	キャリア教育・インターンシップの充実	具体的進路目標を持つ生徒を1年次で50%以上、2年次で70%以上。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	「いじめや暴力をなくす指導が適切に行われている」と回答する生徒の割合95%以上。
	不登校対策の推進	「先生に相談しやすい雰囲気がある」と回答する生徒の割合が85%以上。
	人権教育の推進	「生活の中で差別に気づき、自分の問題として捉えることができる」と回答する生徒の割合100%。

奈良県立王寺工業高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		工学的な知識・技術を活用し、グローバルな視点を持ちながら地域コミュニティを支えるグローバルな人材の育成
教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1. 「ものづくり」に興味・関心があり、技術等の習得に前向きに取り組む生徒 2. 規律を守り、意欲的に高校生活を送りたいと思っている生徒 3. 探究心旺盛で、協調性を持って目標に挑戦しようとする生徒 4. 専門的な知識と技能を習得し、資格取得や検定合格を目標とし、社会課題に取り組もうとする生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	・人権尊重の精神に徹し、社会連帯の精神を養うとともに、人間性豊かな生徒の育成に努めます。 ・基礎学力の定着を図り、専門的な知識と技能を習得させるとともに、創造的な知性・技能を育てます。 ・正しい判断と強い意志力、たくましい心身を育てるとともに、自律的な生活態度を養います。 ・体験的な学習や実践を通して、正しい職業観や勤労観を身に付けさせるとともに、自信と意欲をもたせます。  本校では上記の教育方針の下、その実現に向けた、以下のような教育を行います。 1. 生きる力の基礎、心身ともに豊かな人間性を育むことで、社会形成能力を育成する教育を実践します。 2. 普通教科を中心とした基礎学力の定着から、工業(特に機械・電気・情報)に関する専門教科を座学や実技を通して協働的・実践的・体験的に学ぶ教育を実践します。 3. 社会人として活躍するためのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り、人間力を養うための教育を実践します。 4. 問題解決能力や自己管理能力を養うため、学校設定科目・課題研究では、協働型・問題解決型・探究型学習を実践します。 5. グローバルな人材を育成するため、地域や産業界との連携を図り、就業体験学習等を通してキャリア教育を実践します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成を目指します。 1. 主体的に社会を生き抜くために必要な、自ら考え、正しく行動する力 2. 真理の探究に向け、自ら学び、協働的に忍耐強く挑戦する力 3. 専門的な知識と技能、ものづくり力を身に付け、社会課題の解決に貢献できる力

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	特別支援委員会を通して教職員間の情報共有体制を構築するとともに、スクールカウンセラー等との連携の強化	生徒アンケートにおいて、「担任の先生外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」という回答90%以上を目指す。
	健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	授業での取組を工夫することで、『体育の授業は楽しい』、『運動やスポーツをすることは好き』の生徒を増やすとともに、新体カテストの結果において全国平均を上回る種目を5つ以上にする。
	ICTを活用した教育の推進	授業アンケートにおいて、「ICTを適切に使用している」という項目で90%以上となる科目が半数以上。
	読書活動の推進	卒業後も本が身近な存在であるように、気軽に来館し、本に親しんでもらうことを目標とし、図書館の来館者数の割合(来館者数割合=来館者数÷(生徒数×12ヶ月)×100[%])を80%以上を目指す。
	新しい時代に求められる資質・能力の育成	プレゼンテーション能力や問題解決能力を養うための学校設定科目及び課題研究における授業アンケートの授業満足度80%以上を目指す。
	郷土の伝統・文化に関する教育の推進	奈良TIMEを実施している科目の授業アンケートにおいて授業満足度80%以上を目指す。
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教職員の資質向上	授業アンケートにおいて、「各観点の評価法について理解できている」という項目で「そう思う・だいたいそう思う」の割合が80%以上を目指す。
	生徒自ら校内の環境整備を充実していくシステムの構築	・環境美化委員会を中心に清掃用具の管理と消耗品交換を年3回、トイレ用品や清掃液補充を年7回実施し、美化活動への積極性を育むとともに、机・椅子脚キャップ、黒板消し・クリーナ等の教室内備品についても、生徒の手で管理されるようにしていく。 ・アンケートにおいて、「清掃にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、80%以上を目指す。
	教員の働き方改革の推進	教職員のワークライフバランスによる「教育の質の向上」「生徒の豊かな成長」のため、教職員の勤務実態を把握した上で、月当たりの時間外業務を令和6年度より25%減らすことを目指す。
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	インターンシップの充実	・求人のある企業を限定して、インターンシップから就職に結びつくような行事の一つとし、生徒のインターンシップ参加率100%を目指す。 ・アカデミックインターンシップの参加者を募り、参加者数前年比増を目指す。
	実学教育の推進	社会人としてのスキルを身に付けさせるための、基礎学力向上として朝学習を推進し、朝学習がためになったという生徒の割合が90%以上を目指す。
	部活動の推進	以下の取組を積極的に推し進め、部活動には全学年の加入率75%以上を維持していくとともに、新入生の加入率90%以上を目指す。 ・快適な活動ができるよう、施設設備の充実を図る。 ・加入促進のための活動(クラブ勧誘等)を積極的に行う。 ・クラブ活動の充実のため、生徒会予算の適正化を図る。
	学校・家庭・地域の連携・協働の推進	・中学生対象の王工見学会実施後のアンケートにおいて、「今日の高校見学会で、王寺工業高校の内容がわかったと思いますか」という質問に対し「大変よくわかった」「だいたいよくわかった」と回答する割合が90%となることを目指す。 ・学校運営協議会の際に委員が回答する学校関係者評価表について、すべての項目の平均値が1.6以下(1～4で1が最高の評価)となることを目指す。
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策	・学期はじめの個人面談・家庭訪問・休み時間の立哨指導・遅刻者の指導・学期に1回のいじめアンケートの実施等とおし、生徒一人一人とコミュニケーションをとる機会を意図的に設定し、生徒が教員に悩みなどを早期に相談できる関係性をつくる。 ・アンケートにおいて、「悩みについて気軽に相談することができる先生がいる」という回答を90%以上とする。
	人権教育の推進	人権学習ホームルームを充実させるとともに、「人権を確かめ合う日」アピール文を発行して人権意識を高め、人権問題と自己の関わり方について考え行動できる生徒の割合が90%以上を目指す。

奈良県立大和広陵高等学校 中期計画

対象期間	令和7年4月～令和11年3月	
本校の使命(スクール・ミッション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校スローガン「スポーツ(部活動)をとおしての人づくり」をあげて、部活動を重視、応援します。</li> <li>・たくましい体力と豊かな人間性を有し、社会に貢献できる人材育成します。</li> <li>・一人一人に合った進路実現と自己実現をサポートします。</li> </ul>	
教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なことに興味を持ち、自己の能力を高めようと前向きに努力できる生徒</li> <li>・学校生活の中で、仲間と協調してものごとに取り組める生徒</li> <li>・HR活動、委員会活動、生徒会活動等に積極的に参加し、継続して活動する意思を持っている生徒</li> <li>・部活動(運動部・文化部)を行うことに興味、関心のある生徒</li> <li>・サッカー、硬式野球、レスリングの部活動でより専門的に学び、充実した活動を希望する生徒</li> </ul>
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、新しい時代に求められる資質・能力の育成を教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に学び、確かな基礎学力の定着を目指します。</li> <li>・多様化する健康課題に対応するため、生徒の運動習慣の改善を図ります。</li> <li>・情報化社会を適切に生きるため、ICTを学びのツールとして適切に活用できる力を育成します。</li> <li>・将来のキャリア形成に必要なコミュニケーション力、表現力、問題解決能力を育成します。</li> <li>・地域へのボランティア活動への参加活動をおして、地域の伝統・文化を知り、地域社会への貢献によって、自己肯定感・有用感を醸成します。</li> <li>・専門スポーツに対しての深い理解や充実した実践のための探究的な取組を行います。(生涯スポーツ科)</li> </ul>
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者敬愛の精神と皆が支え合うことの大切さを理解できる能力</li> <li>・多様な社会を生きるために必要な、自ら学び、考える力と自己表現できる力</li> <li>・自分の進路を拓く行動力と確かな学力を身に付け、社会に貢献できる力</li> <li>・スポーツ、文化的活動をおして培う高い人間力</li> </ul>

R7年度より4年間を見通した、奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ学校教育の推進	・基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「予鈴着席している生徒」100%</li> <li>・「あいさつ習慣のある生徒」90%以上</li> <li>・「朝食を毎日食べる、時々欠かす生徒」80%以上</li> </ul>
	・体力の向上と運動習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の時間を除き、運動やスポーツの実施状況「週1～2日以上」80%</li> <li>・「体力向上の実感度」80%以上</li> </ul>
	・生徒が主体的に学び、確かな基礎学力が定着するための授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「意欲的に授業に取り組んだ」90%以上</li> <li>・「授業への満足度」90%以上</li> </ul>
	・生徒会・委員会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒会・委員会活動に対する生徒の満足度」90%以上</li> </ul>
	・部活動(スポーツ・文化)を通した豊かな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科新入生の部活動加入率70%以上</li> <li>・部活動の満足度90%以上</li> </ul>
	・特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する研修会の満足度90%以上</li> <li>・特別支援教育の必要性の認識90%以上</li> </ul>
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	・教員の授業力・指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本校生徒に合った授業への工夫を行っている」90%以上</li> <li>・本校の教育に「やりがい」を感じる教員90%以上</li> </ul>
	・学校安全・防災への対応力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・教員の学校安全・防災への意識度90%</li> </ul>
	・学校行事等の精選、活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒の学校行事への満足度」90%以上(文化祭、体育大会、球技大会、文化鑑賞会、カルタ大会)</li> </ul>
	・生涯スポーツ科実習の精選、活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯スポーツ科実習の生徒満足度」95%以上</li> </ul>
	・教員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員の勤務状況への満足度」90%以上</li> <li>・職員のストレスチェックの健康リスクが県平均以下</li> </ul>
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	・地域社会との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係機関との連携を強化しながら、イベントへの参加や協働に対する満足度80%以上</li> </ul>
	・「自己理解」、「他者理解」の能力を高める教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HR等での学習で、よりよい人間関係づくりの力が高まった生徒90%以上</li> </ul>
	・郷土の伝統・文化に関する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奈良TIMEに関わる学びの満足度」90%以上</li> </ul>
	・インターンシップの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の参加人数 前年度比200%以上</li> <li>・「参加生徒の満足度」90%以上</li> </ul>
4. 誰一人取り残さない教育の推進	・いじめのない学校にする取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は友達、クラスメートなど学校の仲間を大切にしている」95%以上</li> <li>・「悩みを相談できる人が学校にいる」95%以上</li> </ul>
	・生徒相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教員への相談に対する満足度」90%以上</li> </ul>
	・通級教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通級教育研修の満足度」90%以上</li> <li>・「通級参加生徒の満足度」95%以上</li> </ul>

奈良県立奈良南高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		様々な教育活動を通して、人権尊重の精神をもち、学ぶ意欲や主体的・協働的によりよく問題を解決する資質・能力を身に付け、南奈良地域を中心とした社会に貢献する自立した人材を育成します。また、地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域住民等が教育活動に参画することにより、信頼される「魅力ある学校づくり」に努め、奈良県・地域社会のニーズに応えます。
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、次のような生徒を積極的に受け入れます。 ・本校の使命や教育方針に共感し、実践しようとする生徒 ・学習活動に主体的・協働的・探究的に取り組もうとする生徒 ・人権尊重の精神に徹し、他者を認め、社会貢献の意識が高い生徒 ・将来、奈良県内の企業等で建築の業務に従事する意思を有しているもの(専攻科)
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を育成するため以下の教育を行います。 ・生徒一人一人の興味・関心、進路選択に応じたカリキュラムを編成します。 ・学力の向上を図り、生徒一人一人の自己実現を目指します。 ・道徳心や公共心を育み、ボランティア活動を推進し、社会の一員として地域社会に貢献する精神を育てます。 ・基本的な生活習慣を身につけ、規範意識を向上させることにより、正しく判断する力を涵養します。 ・部活動への積極的な参加を促し、体力・気力の向上を図ります。 ・専門的な内容をより深く学び、資格等の取得を目指します。(専攻科)
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業(修了(専攻科))までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 ・幅広い知識とともに各専門分野の知識を体系的・系統的に理解し、関連する技能・技術を身に付けている。 ・学ぶ意欲や主体的・協働的によりよく問題を解決する資質・能力を身に付け、地域社会に貢献することができる。 ・人権尊重の精神に徹し、規律を重んじ、道徳心や社会の連帯意識を身に付けている。 ・国際化、情報化、価値観の多様化などの社会の変化に対応できる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力をはぐくむ 学校教育の推進	教育DXの推進	各学期で端末を使用して授業を実施した科目(専門教科・科目を除く)の割合100%
	郷土の伝統・文化に関する教育による豊かな心の育成	奈良TIMEにおける学習の満足度80%以上
	特別支援教育の充実	職員研修などを通して授業のUD化を実施し、生徒の自己肯定感や満足度70%以上
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、 体制の整備の推進	教職員の授業力・資質の向上	教科に関する研修講座等に1回以上参加の教員の割合100%
	学校安全の推進	防災教育・避難訓練を学期に1回実施し、避難経路や安全への知識が向上した生徒の割合80%以上
	教員の働き方改革の推進	定時退庁日を週に1回設け、時間外勤務の削減に向けた意識を高めた教員の割合90%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に 向けた教育の推進	キャリア教育の充実	就職希望生徒の履歴書作成や面接指導の際にキャリアパスポートを持参させ、キャリアパスポート活用率50%以上
	インターンシップの充実	参加率が低い普通科の生徒へもキャリアサポートセンター主催の長期休業中のインターンシップへの参加を督促し、全体でインターンシップ等の参加率50%以上
	地域学校協働活動の推進	地域と学校の連携事業を30以上実施し、参加生徒の満足度70%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	LHRの活用などからいじめの認識を高めていき、積極的認知を推奨されているが、いじめの認知件数3件以内
	不登校対策の推進	生徒理解、支援シートの活用を通して「ほっとかない教育」を推進し、生徒理解や教育相談に対する満足度70%以上
	人権教育の推進	職員の全体研修年2回実施に加え、あらゆる場面で人権を意識した教育活動ができているかの自己評価を行い、できている教員の割合80%以上

奈良県立十津川高等学校 中期計画

対象期間		令和7年4月～令和11年3月
本校の使命(スクール・ミッション)		「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成、将来の地域を担う人材の育成及び輩出
教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 相手を尊重し、互いの違いを認め合える生徒 3 集団生活のできる生徒 4 地域や社会のために役立ちたいと考える生徒 5 将来の進路について自ら考え、その実現に向け自ら行動できる生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、十津川の雄大な自然と地域の温もりの中で、スクール・ミッション達成のために以下の教育を行います。 1 生活面、学習面において、生徒一人一人に合ったきめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣の定着に基づく確かな学力の育成に取り組みます。 2 生徒一人一人の興味関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成し、学校の特色を活かした学校設定科目を開設して専門性を深める教育を行います。 3 ICT機器を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実に取り組みます。 4 生徒や地域住民の生命と未来を守るため、防災教育及びキャリア教育を推進します。 5 規律ある集団生活を通して、規範意識やコミュニケーション能力を育成します。 6 小中高の連携、ボランティア活動など地域と共にある学校づくりの活動を通して、自尊感情や自己有用感を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに以下の資質・能力の育成に努めます。 1 人とのつながりを大切にする視点を基に、地域への愛着や誇りをもって地域に貢献しようとする事ができる。 2 卒業後も向上心をもって意欲的に学び続けることができる。 3 幅広い知識と確かな学力を身に付け、自らの進路を切り開くことができる。 4 自然災害から身を守り、他人や地域の安全を支えることができる。

奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	令和10年度末目標値等(B)
1. 自ら学び、考え、意見を述べる力を はぐくむ学校教育の推進	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上
	ICT機器を活用した生徒の情報活用能力の向上	情報活用能力の向上に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上
	郷土の伝統・文化に関する教育(奈良TIME)の推進	郷土の伝統・文化に対する理解についてのアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上
	特別支援教育体制の充実	校内委員会(ケース会議)を年3回、ユニバーサルデザインな授業に関する職員研修を年5回実施
2. 学校における教育の基盤となる教育環境、体制の整備の推進	教員の働き方改革の推進	教職員ストレスチェックの総合健康リスク80以下
	教職員の資質向上	教員のICT指導力の向上に関するアンケートにおいて、肯定的な回答の割合80%以上
	学校安全の推進	・学校安全に関わる教員研修・訓練等を毎年必ず実施 ・防災教育に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上
3. 地域や家庭で学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進	キャリア教育の推進	キャリア教育に関するアンケートにおいて、「進路について、自ら具体的に調べたり、深く考えたりする機会がある」と回答した生徒の割合が、第1学年で70%以上、第2学年で80%以上
	インターンシップの充実	第2学年におけるアカデミック・インターンシップを含むインターンシップへの参加率70%以上
	地域学校協働活動の充実	地域学校協働活動に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上
4. 誰一人取り残さない教育の推進	いじめ防止対策の推進	・いじめ防止対策の推進に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上 ・いじめと認知した事象の3か月以内の解消率100%
	教育相談体制の充実	本校の教育相談体制に関するアンケートにおいて、生徒・保護者の肯定的な回答の割合80%以上
	人権教育の推進	・「なかまとともに」を使用した人権HRを十分な事前、事後研修のもと年間5回実施 ・人権教育の推進に関するアンケートにおいて、生徒の肯定的な回答の割合80%以上